Gontents

次期オペラ芸術監督 飯守泰次郎
2014/2015シーズン オペラ ラインアップ 3
舞台神聖祝祭劇 パルジファル 新制作 4
ドン・ジョヴァンニ 10
ドン・カルロ16
さまよえるオランダ人22
こうもり28
マノン・レスコー 新制作34
運命の力40
椿姫 新制作46
ばらの騎士50
沈 默56
平成26年度公演 ······62
平成 26年度 新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室 蝶々夫人64
平成 26年度 新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演 夕鶴
公演一覧 (1997.10 ~ 2014.6)

※本資料中のスタッフ・キャストはすべて予定であり、変更される可能性がございます。何卒ご承知おきください。

[・]本資料に掲載しているチケット料金は、消費税率8%での金額です。

^{・2014/2015}シーズンセット券は 2014年2月28日までのアトレ会員優先受付にお申込みいただき、3月31日までに決済が完了した場合は、消費税率5%の料金でお買い求めいただけます。

^{※2014}年3月31日まで(一般先行受付期間中)にお申込みいただいても、アトレ会員優先受付以外のお申し込みは4月1日以降の決済となりますので、消費税8%を申し受けます。予めご了承ください。

2014/2015シーズン オペラ



次期オペラ芸術監督 **飯守泰次郎** Iimori Taijiro

オペラを愛する皆様、新国立劇場の次期オペラ部門芸術監督として、心からご 挨拶申し上げます。このたび私に与えられた使命の重さを痛感し、皆様のご期待 に応えるべく、持てる力のすべてを投入する決意でおります。

西洋文化とオペラは切っても切れない関係にあります。オペラの世界には、歴史、民族、宗教、哲学、政治、そして人間のありのままの生きざまなどが生き生きと描かれており、その普遍的な内容の深さに私はいつも圧倒されます。ヨーロッパおよび日本での私の経験をもとに、オペラが人間に与える豊かさを日本の文化の中で活かしていくことこそ、私の務めであり喜びです。新国立劇場の16年にわたる豊かな実績と国際的な名声をふまえ、世界の主要歌劇場のひとつとして、よりクオリティーの高い公演を実現していきたいと思っております。

2014/2015シーズンは、新制作のワーグナー『パルジファル』で幕開けとなります。これにより新国立劇場は、ワーグナーの主要作品すべてを上演したことになります。演出はドイツの巨匠ハリー・クプファー、そしてクリスチャン・フランツ、ジョン・トムリンソン、エヴェリン・ヘルリツィウスなど豪華なワーグナー歌手が勢揃いします。

続いて、プッチーニ『マノン・レスコー』。2011年の初日直前に東日本大震災により中止となった作品ですが、 今シーズンの新制作2本目としてついにお届けできることになりました。

そして新制作3本目はヴェルディ『椿姫』です。常にレパートリーにあるべきこの名作を、フランスの新鋭ヴァンサン・ブサールによる感覚的で美しい演出、フレッシュな指揮者と歌手陣でお贈りします。

再演演目につきましては、まずモーツァルトの『ドン・ジョヴァンニ』を選びました。人間性の深いところまで 踏み込む、モーツァルト作品の中でも私が最も愛するオペラです。

次に、ワーグナー『さまよえるオランダ人』を上演します。彼自身のアイデンティティーを初めて打ち出した作品です。ヴェルディの作品からは、『ドン・カルロ』と『運命の力』。そしてヨハン・シュトラウス『世『こうもり』とリヒャルト・シュトラウス『ばらの騎士』。ともにウィーンの香り高い作品です。シーズンの最後を飾るのは松村禎三の『沈黙』です。この作品は日本が世界に誇る傑作の一つであると私は確信しております。

2014/2015シーズンのラインアップを、皆様に楽しんでいただけましたら大変嬉しく思います。

〈プロフィール〉

1940年生。62年桐朋学園短期大学音楽科(指揮科)卒業。61年に藤原歌劇団公演『修道女アンジェリカ』にてデビュー。66年ミトロプーロス国際指揮者コンクール、69年カラヤン国際指揮者コンクールでともに第4位入賞。72年に芸術選奨新人賞とバルセロナのシーズン最高指揮者賞を受賞。72年から76年まで読売日本交響楽団指揮者、70年からバイロイト音楽祭の音楽助手として数々の歴史的公演に加わり、ブレーメン、マンハイム、ハンブルク、レーゲンスブルクの各歌劇場にも指揮者として籍をおいた。エンスへデ市立歌劇団第一指揮者を経て、79年から95年までエンスへデ市立音楽院オーケストラ指揮者。93年より98年まで名古屋フィルハーモニー交響楽団常任指揮者。97年より東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団常任指揮者、2012年4月より同団桂冠名誉指揮者。01年から10年まで関西フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者、11年から同団桂冠名誉指揮者。第32回(2000年度)サントリー音楽賞、第54回(2003年度)芸術選奨文部科学大臣賞受賞。04年11月紫綬褒章、08年第43回大阪市市民表彰、10年11月旭日小綬章を受章。12年度文化功労者および日本芸術院賞。オペラ指揮者としての新国立劇場出演は、00年『青ひげ公の城』、08年地域招聘公演『ナクソス島のアリアドネ』、12年オペラ研修所公演『フィレンツェの悲劇』『スペインの時』。2014/2015シーズンは『パルジファル』『さまよえるオランダ人』を指揮する。

■ 芸術監督任期 (予定): 平成 26 (2014)年9月1日~平成 30 (2018)年8月31日

Lineup

2014/2015シーズン オペラ ラインアップ

〈新制作3演目/レパートリー7演目 合計10演目50公演〉

2014.10

舞台神聖祝祭劇

パルジファル新能

Parsifal リヒャルト・ワーグナー 5回公演

2014.10

ドン・ジョヴァンニ

Don Giovanni $\mid \mathring{\mathcal{D}}_{\pi}$ ルフガング・アマデウス・モーツァルト 5回公演

2014.11 ~ 12

ドン・カルロ

Don Carlo | ジュゼッペ・ヴェルディ

2015.1

さまよえるオランダ人

Der fliegende Holländer | リヒャルト・ワーグナー 5回公演

$2015.1 \sim 2$

こうもり

Die Fledermaus | ヨハン・シュトラウスII世 5回公演

2015.3

マノン・レスコー 新制作

Manon Lescaut | ジャコモ・プッチーニ 5回公演

2015.4

運命の力

La Forza del Destino | ジュゼッペ・ヴェルディ 5回公演

2015.5

椿姫 新

La Traviata | ジュゼッペ・ヴェルディ 6回公演

$2015.5 \sim 6$

ばらの騎士

Der Rosenkavalier | リヒャルト・シュトラウス 5回公演

2015.6

沈黙

Silence | 松村禎三

4回公演

舞台神聖祝祭劇

 $2014.10/2 \sim 14$

パルジファル

新制作 New production

Parsifal

オペラパレス | 5回公演 | 全3幕〈ドイツ語上演/字幕付〉

初 演:1882年7月26日/バイロイト祝祭劇場

作曲・台本: リヒャルト・ワーグナー

プロダクションについて

飯守次期芸術監督が就任第1シーズンの開幕公演にとりあげるのは『パルジファル』。ワーグナー自ら中世の叙事詩に基づいて台本をつくり作曲した舞台神聖祝祭劇です。バイロイト祝祭劇場のために書かれた本作は、ワーグナー芸術の集大成ともいうべき最晩年の傑作で、その深遠さは、作品に多様な解釈の幅を与えています。本作は新国立劇場では初上演となります。

演出は、1970年代から90年代にかけてバイロイト音楽祭で活躍し、後世に残るプロダクションを数多く生み出してきた巨匠ハリー・クプファー。タイトルロールは、世界的なヘルデンテノールのクリスティアン・フランツ、グルネマンツ役にジョン・トムリンソン、クンドリー役にエヴェリン・ヘルリツィウスと今望み得る最高のキャストが揃いました。飯守泰次郎次期芸術監督の指揮で上演いたします。

あらすじ

【第1幕】モンサルヴァート城では、イエスの脇腹を刺した聖槍と、その血を受けた聖杯が騎士団に守られていた。一方、魔術師クリングゾルは魔術で騎士たちを快楽の世界へと陥れていた。アムフォルタスは彼に戦いを挑むが、魔術にかかったクンドリーの誘惑に落ち、聖槍を奪われ脇腹を刺されてしまう。以来アムフォルタスの傷は治らず、激痛に耐える日々。聖槍も奪われたままだ。傷を治すには「無垢な愚者」の登場を待つしかない。ある日、白鳥を矢で射った男パルジファルが現れる。彼こそ「無垢な愚者」かと期待した老騎士グルネマンツは、彼に聖杯の儀式を見せる。しかしパルジファルは、アムフォルタスの苦痛は感じるものの、それ以上のことは理解できない。【第2幕】クリングゾルはクンドリーに、パルジファルを誘惑するよう命じる。クンドリーは、魔法の花園にやってきたパルジファルを呼び止め、彼の出生の状況や、彼の母のことを語り、パルジファルの心をかき乱す。そしてクンドリーが接吻すると、パルジファルに智が備わり、アムフォルタスの苦痛の意味と自分の使命を知る。誘惑を拒み、アムフォルタスのもとへ行こうとするパルジファルに向かって、クリングゾルは聖槍を放つ。すると聖槍はパルジファルの頭上で止まる。パルジファルは聖槍を手に取り十字を切ると、魔法は解け、花園は消える。

【第3幕】幾年も経った聖金曜日。パルジファルは聖槍を手にモンサルヴァート城に到着する。感激するグルネマンツは彼の頭に水を注ぎ、クンドリーは彼の足を清め、彼に洗礼を施す。グルネマンツは 2人を聖杯の儀式へ連れていく。パルジファルがアムフォルタスの傷口に聖槍を当てると、傷はみるみる消えた。パルジファルは聖杯の王となり、聖杯は光り輝く。クンドリーはパルジファルの足元で息絶える。一羽の白い鳩が舞い降りる。

4 OPERA | 舞台神聖祝祭劇 パルジファル

New production 新制作 New production

リヒャルト・ワーグナー

舞台神聖祝祭劇 ノペノレジファノレ

Richard Wagner / Parsifal

全3幕〈ドイツ語上演/字幕付〉

)		
	指 揮······Conductor	飯守泰次郎 Iimori Taijiro
	演 出····································	ハリー・クプファー Harry Kupfer
	jack	
	Associate Director	Derek Gimpel
	装_置	ハンス・シャヴェルノッホ
		Hans Schavernoch
		Yan Tax
	照 明	
		Jürgen Hoffmann
		Egils Silins
		Hasegawa Akira
		John Tomlinson
	パルジファル Parsifal	Christian Franz
		Robert Bork
		Evelyn Herlitzius
	第 1・第 2 の聖杯騎士 ················· 2 Gralsritter	Murakami Kota Kitagawa Tatsuhiko
	4 人の小姓 ····································	九嶋香奈枝 國光ともこ Kushima Kanae Kunimitsu Tomoko
		鈴木 准 小原啓楼 Suzuki Jun Ohara Keiroh
	花の乙女たち ······Klingsors Zaubermädchen	三宅理恵 鵜木絵里 小野美咲 Miyake Rie Unoki Eri Ono Misaki
		針生美智子 小林沙羅 增田弥生 Hariu Michiko Kobayashi Sara Masuda Yayoi
	アルトソロ ····································	池田香織 Ikeda Kaori
	合 唱······Chorus	新国立劇場合唱団 New National Theatre Chorus
	管弦楽····· Orchestra	東京フィルハーモニー交響楽団 Tokyo Philharmonic Orchestra
	2014年10月2日(木) 4:00	0 11日(土) 2:00
	5日(日) 2:00	0 14日(火) 4:00
	8日(水) 2:00	
	オ ペ=	ラパレス

オペラパレス

【チケット料金】

S:32,400円·A:27,000円·B:19,440円·C:12,960円·D:6,480円 【前売開始】2014年6月15日(日)

OPERA|舞台神聖祝祭劇 パルジファル 5

舞台神聖祝祭劇ノパルジファル

Richard Wagner / Parsifal

指揮:飯守泰次郎

Conductor: Iimori Taijiro

相朋学園短期大学卒業。在学中に藤原歌劇団公演『修道女アンジェリカ』にてデビュー。1966年ミトロプーロス国際指揮者コンクール、69年カラヤン国際指揮者コンクールでともに第4位入賞。72年、芸術選奨新人賞とバルセロナのシーズン最高指揮者賞を受賞。これまでに読売日響指揮者、ブレーメン、マンハイム、ハンブルク、レーゲンスブルクの各歌劇場の指揮者、エンスへデ市立歌劇団第一指揮者、名古屋フィル常任指揮者、東京シティ・フィル常任指揮者、関西フィル常任指揮者を歴任。現在、東京シティ・フィル桂冠名誉指揮者、関西フィル桂冠名誉指揮者。第32回(2000年度)サントリー音楽賞、第54回(03年度)芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2004年紫綬褒章、10年旭日小綬章、12年度文化功労者、日本芸術院賞。新国立劇場では00年『青ひげ公の城』、08年地域招聘公演『ナクソス島のアリアドネ』、12年オペラ研修所公演『フィレンツェの悲劇』『スペインの時』を指揮。2014/2015シーズンはほかに『さまよえるオランダ人』を指揮する予定。14年9月新国立劇場オペラ芸術監督就任予定。



演出: ハリー・クプファー Production : Harry Kupfer



ベルリン生まれ。1958年ハレ歌劇場『ルサルカ』で演出家デビュー後、ケムニッツ市立歌劇場、ワイマールのドイツ国民劇場、ザクセン州立歌劇場などで演出。78年『さまよえるオランダ人』でバイロイト音楽祭にデビュー。81年ベルリン・コーミッシェ・オーパーの首席演出家となり、2002年にベルリンを離れるまでの間にモーツァルトの主要オペラ全作品、『ラ・ボエーム』『カルメン』『エレクトラ』『フィデリオ』『こうもり』『ホフマン物語』『ランメルモールのルチア』『メリー・ウィドウ』『ニュルンベルクのマイスタージンガー』『オルフェオとエウリディーチェ』『椿姫』など多数の作品を演出。その後、ネザーランド・オペラ、ブレゲンツ音楽祭、ブエノスアイレスのコロン劇場、ハンブルク州立歌劇場をはじめ世界各地の劇場、音楽祭で演出を重ね、既に200を超える作品を演出している。今後の演出作品には、テルアビブ・オペラ『ホフマン物語』、ザルツブルク音楽祭『ばらの騎士』、フィンランド国立歌劇場『ニュルンベルクのマイスタージンガー』、ベルリン・ドイツ・オペラ『フィデリオ』などがある。新国立劇場初登場。

アムフォルタス: エギルス・シリンス

Amfortas: Egils Silins

ラトヴィア出身。1988年ラトヴィア国立歌劇場ボーイト『メフィストーフェレ』でオペラデビュー。フランクフルト州立歌劇場及びバーゼル歌劇場との専属契約を経て、ウィーン・フォルクスオーパーのソロ歌手となる。その後、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ミラノ・スカラ座、バイエルン州立歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、ザクセン州立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、バルセロナのリセウ劇場、マリインスキー劇場、チューリッヒ歌劇場、シカゴ・リリック・オペラなど名だたる歌劇場に出演。『ラインの黄金』『ワルキューレ』ヴォータン、『ジークフリート』さすらい人、『パルジファル』クリングゾル、『さまよるオランダ人』オランダ人、『サロメ』ヨハナーン、『トスカ』スカルピア、『椿姫』ジェルモンなど70を超えるレパートリーを持つ。最近では、チューリッヒ歌劇場『ニーベルングの指環』『サロメ』、パリ・オペラ座『ラインの黄金』『ワルキューレ』、マドリッドのレアル劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ザクセン州立歌劇場での『さまよるオランダ人』、英国ロイヤルオペラ『サロメ』などに出演。今後の予定には、モンテカルロ歌劇場及び東京・春・音楽祭での『ラインの黄金』、ベルリン州立歌劇場『トスカ』などがある。新国立劇場初登場。



主要キャスト・スタッフプロフィール

舞台神聖祝祭劇ノペルジファル

Richard Wagner / Parsifal

ティトウレル:長谷川 顯

Titurel : Hasegawa Akira

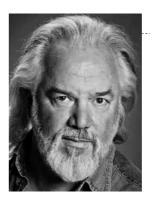
国立音楽大学卒業。二期会合唱団に15年間在籍し、年間40本に及ぶオペラ公演や多数の演奏会に出演。ソロ歌手としては『ワルキューレ』フンディング、『さまよえるオランダ人』ダーラント、『魔笛』ザラストロ、『リゴレット』スパラフチーレ、『ラ・ボエーム』コッリーネ、『トゥーランドット』ティムール、『トスカ』アンジェロッティなどに出演。新国立劇場では『ラインの黄金』ファーゾルト、『神々の黄昏』ハーゲン、『フィデリオ』ロッコ、『リゴレット』スパラフチーレ、『ドン・ジョヴァンニ』騎士長、『魔笛』武士II、『カルメン』スニガ、『ばらの騎士』警部、『ローエングリン』ブラバントの貴族Nなど数多く出演。2013年4月『魔笛』では3回目の公演にザラストロ役で急遽出演。二期会会員。



グルネマンツ: ジョン・トムリンソン

Gurnemanz : John Tomlinson

英国・ランカシャー生まれ。これまでに、メトロポリタン歌劇場、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン州立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、バイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭など名だたる歌劇場や音楽祭に出演している。また、イングリッシュ・ナショナル・オペラには1974年以降、英国ロイヤルオペラには77年以降定期的に出演するほか、他の英国の主なオペラ・カンパニーにも出演している。『ニーベルングの指環』ヴォータン、さすらい人、ハーゲン、『パルジファル』グルネマンツ及びティトゥレル、『ニュルンベルクのマイスタージンガー』ハンス・ザックス、『さまよえるオランダ人』オランダ人、『ばらの騎士』オックス男爵、『魔笛』ザラストロをはじめ幅広いレパートリーを持つ。英国の主要なオーケストラと欧州各地及び米国で共演し、録音も数多い。今後の予定には、英国ロイヤルオペラ『ヴォツェック』医者、アントワープのフランダース・オペラ『ムツェンスク郡のマクベス夫人』イズマイロフ、ウェールズ・ナショナル・オペラ『モーゼとアロン』モーゼなどがある。97年英国エリザベス女王より大英勲章 CBE を受勲、2005年にはナイトに叙された。新国立劇場初登場。



パルジファル: クリスティアン・フランツ

Parsifal : Christian Franz

ミュンヘン生まれ。1991年に弱冠23歳でドイツ国内にて、オペラデビュー作となる『魔弾の射手』マックスと『ランメルモールのルチア』エドガルドを歌う。以来、世界的なヘルデンテノールとして各地に招かれるようになり、ベルリン州立歌劇場、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、バイロイト音楽祭などに定期的に出演している。『ニーベルングの指環』ジークフリート、ジークムント、ローゲ、『パルジファル』タイトルロール、『トリスタンとイゾルデ』トリスタン、『オテロ』タイトルロール、『道化師』カニオ、『フィデリオ』フロレスタン、『ナクソス島のアリアドネ』バッカスなど幅広いレパートリーを持つ。最近では、2013年3月バーデン州立歌劇場カールスルーエ『ジークフリート』、9~10月ハンブルク州立歌劇場『オテロ』に出演した。今後の予定には、ハンブルク州立歌劇場『ニーベルングの指環』及び『オテロ』、ブダペスト・ワーグナー音楽祭『パルジファル』などがある。新国立劇場では03、10年『ジークフリート』、04、10年『神々の黄昏』、06年『道化師』に出演。



6OPERA | 舞台神聖祝祭劇 パルジファル7

舞台神聖祝祭劇ノペルジファル

Richard Wagner / Parsifal

クリングゾル:ロバート・ボーク

Klingsor : Robert Bork

アメリカ・シカゴ生まれ。ケルン歌劇場で音楽活動を開始し、「魔笛』パパゲーノ、『マノン』レスコー、『カルメン』エスカミーリョ、『愛の妙薬』ベルコーレ、『ドン・パスクワーレ』マラテスタなどで強烈な印象を残した。これまでに、ミラノ・スカラ座、ハンブルク州立歌劇場、フェニーチェ歌劇場、ストラスブール国立歌劇場、トゥールーズ歌劇場、アントワープのフランダース・オペラなどに出演している。『さまよえるオランダ人』オランダ人、『パルジファル』クリングゾル、『サロメ』ヨハナーン、『運命のカ』ドン・カルロ、『ばらの騎士』ファーニナルなど幅広いレパートリーを持つ。今後の予定には、トゥールーズ歌劇場『マノン』、ストラスブール国立歌劇場『青ひげ公の城』『ドクター・アトミック』などがある。新国立劇場初登場。





クンドリー: エヴェリン・ヘルリツィウス

Kundry : Evelyn Herlitzius

ハンブルクで音楽と演劇を学ぶ。1993年フレンスブルク歌劇場『タンホイザー』エリーザベトでオペラデビュー。97年以降、ザクセン州立歌劇場に定期的に出演し、『フィデリオ』レオノーレ、『サロメ』タイトルロール、『影のない女』バラクの妻、『タンホイザー』ヴェーヌス、『パルジファル』クンドリーなどを歌っている。他にも、ベルリン州立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、ウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、バイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭、エクサンプロヴァンス音楽祭など、各地で活躍。最近では、ベルリン・ドイツ・オペラ『ワルキューレ』『神々の黄昏』ブリュンヒルデ、ローマ歌劇場『トゥーランドット』タイトルロール、エッセン歌劇場『トリスタンとイゾルデ』イゾルデなどに出演。今後の予定には、ザクセン州立歌劇場及びミラノ・スカラ座『エレクトラ』タイトルロール、ウィーン国立歌劇場『ヴォツェック』マリー、ベルリン・ドイツ・オペラ『パルジファル』クンドリーなどがある。2002年ザクセン州より宮廷歌手の称号を授与される。新国立劇場初登場。

8 OPERA | 舞台神聖祝祭劇 パルジファル

 $2014.10/16 \sim 26$

ドン・ジョヴァンニ

レパートリー Repertoire

Don Giovanni

オペラパレス | 5回公演 | 全2幕〈イタリア語上演/字幕付〉

初演: 1787年10月29日/プラハ国立劇場 作曲: ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

台本:ロレンツォ・ダ・ポンテ

プロダクションについて

ドン・ジョヴァンニの奔放な女性遍歴と衝撃的な最期を、人間の本質の奥深くまで踏み込んで描いたモーツァルト円熟期の傑作。グリシャ・アサガロフのプロダクションでは、18世紀ヴェネツィアに実在した色男ジャコモ・カサノヴァになぞらえたドン・ジョヴァンニの人物像がオーソドックスな手法で描かれています。

タイトルロールは、アドリアン・エレート。2011年『こうもり』アイゼンシュタイン役で見せた演技力と、バイロイト音楽祭にも度々出演するその歌唱力に注目しての抜擢です。対するレポレッロ役はロレンツォ・レガッツォ。モーツァルトを得意とし、新国立劇場では07年『フィガロの結婚』でタイトルロール、10年同公演でアルマヴィーヴァ伯爵を演じています。指揮は、オーストリアの重鎮ラルフ・ヴァイケルトです。





2012年公演より

あらすじ

【第1幕】従者レポレッロを引き連れ、夜な夜な女性の家へ忍び込む、稀代の色男ドン・ジョヴァンニ。今宵はドンナ・アンナの部屋へ行くが、彼女の父親である騎士長に見つかり、決闘となり騎士長を刺し殺してしまう。アンナは婚約者ドン・オッターヴィオに、犯人を探して復讐してほしいと求める。

ジョヴァンニは通りすがりの女性に声をかけるが、それは昔の女ドンナ・エルヴィーラ。彼女はジョヴァンニに捨てられてもまだ彼を愛し、彼を探していたのだ。ジョヴァンニは大慌てで逃げる。後を託されたレポレッロは彼女に、ジョヴァンニはヨーロッパじゅうの 2000人もの女性と関係しているのだから諦めるよう論す。

村で農夫マゼットと村娘ツェルリーナの結婚式が始まろうというとき、ジョヴァンニが来て花嫁を誘惑するが、 すんでのところでエルヴィーラが止める。アンナは犯人探しの協力をジョヴァンニに求めるが、話すうち彼こそ 犯人だと気づく。村人たちを招いてパーティを開くジョヴァンニは上機嫌。そんな彼をアンナたちは追及する。 【第2幕】ジョヴァンニはレポレッロと服を交換して変装し、エルヴィーラの小間使いを誘惑。マゼットと農民 たちはジョヴァンニを殺そうとやってくるが、ジョヴァンニ扮するレポレッロに計画を話してしまい、逆にとっ ちめられる。ジョヴァンニの服を着たレポレッロは命からがら逃げてきて、ジョヴァンニと落ち合う。すると、騎 士長の墓の石像が、戒めの言葉を喋り出す。驚く 2人だが、ジョヴァンニは臆せず騎士長を晩餐に招待する。夜、

は拒否。騎士長はジョヴァンニの手を取って炎の中へ引きずり込み、ジョヴァンニは地獄へと落ちるのだった。

Repertoire レパートリー Repertoire

_{ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト} ドン・ジョヴァンニ

Wolfgang Amadeus Mozart / Don Giovanni

全2幕〈イタリア語上演/字幕付〉

Grischa Asagaroff

美術・衣裳 ……………… ルイジ・ペーレゴ

Scenery & Costume Design

照 明······マーティン・ゲプハルト
Lighting Design Martin Gebhardt

ドン・ジョヴァンニ ・・・・・・・ アドリアン・エレート Don Giovanni Adrian Eröd

騎十長…………… 妻屋秀和

Il Commendatore Tsumaya Hidekazu

レポレッロ ・・・・・・・ ロレンツォ・レガッツォ Leporello Lorenzo Regazzo

ドンナ・アンナ・・・・ カルメラ・レミージョ Donna Anna Carmela Remigio

ドン・オッターヴィオ・・・・・・・パオロ・ファナーレ Don Ottavio Paolo Fanale

on Ottavio Paolo Fanale

ドンナ・エルヴィーラ · · · · · · · アガ・ミコライ Donna Elvira Aga Mikolaj

マゼット ・・・・・・・・・ 町 英和 Masetto Machi Hidekazu

ツェルリーナ・・・・・・ 鷲尾麻衣 Zerlina Washio Mai

合唱··················新国立劇場合唱团 Chorus New National Theatre Chorus

管弦楽·····東京フィルハーモニー交響楽団 Orchestra 東京フィルハーモニー交響楽団 Tokyo Philharmonic Orchestra

2014年10月16日(木) 6:30 24日(金) 6:30 19日(日) 2:00 26日(日) 2:00

22日(水) 2:00

オペラパレス

【チケット料金】

S:23,760円·A:19,440円·B:12,960円·C:7,560円·D:4,320円 【前売開始】2014年7月12日(土)

ジョヴァンニの家に本当に騎士長がやってきた。騎士長はジョヴァンニに悔い改めるよう迫るが、ジョヴァンニ

 10
 OPERA | ドン・ジョヴァンニ

 11

ドン・ジョヴァンニ

Wolfgang Amadeus Mozart / Don Giovanni

指揮:ラルフ・ヴァイケルト

Conductor: Ralf Weikert

オーストリア出身。リンツのブルックナー音楽院で学んだ後、ウィーン音楽院のハンス・スワロフスキー教授のもとで研鑚を積む。1975年にはカール・ベーム本人よりカール・ベーム賞を贈られる。27歳の若さでボン歌劇場音楽監督に就任、その後ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団首席指揮者、ザルツブルク州立劇場音楽監督、チューリッヒ歌劇場音楽監督などを歴任。92年以降はフリーの指揮者として、ウィーン国立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ザクセン州立歌劇場、メトロポリタン歌劇場などに出演。『パルジファル』『ニーベルングの指環』などワーグナー作品のほか、『エレクトラ』『ナクソス島のアリアドネ』『サロメ』『セビリアの理髪師』『こうもり』『魔笛』などレバートリーは幅広い。オーケストラ指揮者としても活躍し、録音も多く、2005年には『セビリアの理髪師』の録音でエコークラシック賞を受賞した。新国立劇場では11年『サロメ』、13年4月『魔笛』に続き3度目の出演となる。



演出: グリシャ・アサガロフ

Production: Grischa Asagaroff

ドイツのジーゲン生まれ。ミュンヘン大学で音楽と演劇を学ぶ。1966年よりバイエルン州立歌劇場で舞台監督、演出助手の仕事を始め、ドルトムント歌劇場、ライン・ドイツ・オペラなどで助手を務め、ギュンター・レンネルト、ジャン=ピエール・ポネルなどのもとで研鑽を積みながら国際的な活動をスタート。82年からチューリッヒ歌劇場、86年からウィーン国立歌劇場首席演出家を務め、2012年までチューリッヒ歌劇場芸術監督。新国立劇場では2004年『カヴァレリア・ルスティカーナ/道化師』、06年『イドメネオ』、08、12年『ドン・ジョヴァンニ』の演出を手がけるほか、09年(故)ポネル演出の『チェネレントラ』では、再演演出および演技指導で参加している。



ドン・ジョヴァンニ: アドリアン・エレート

Don Giovanni : Adrian Eröd

オーストリア出身。2001年グノー『ロメオとジュリエット』マキューシオでウィーン国立歌劇場にデビュー。ウィーン国立歌劇場の専属歌手として、『セビリアの理髪師』フィガロ、マスネ『マノン』レスコーなどで出演を重ねる。また、フェニーチェ歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、フランクフルト州立歌劇場、パリ・オペラ座、ヒューストン・グランド・オペラなどにも出演。09年に『ニュルンベルクのマイスタージンガー』ベックメッサーでバイロイト音楽祭に初登場後は、同役でチューリッヒ歌劇場、ライプツィヒ歌劇場、ネザーランド・オペラなどに出演を重ねた。また、『ラインの黄金』ローゲ役は国際的に高い関心を集め、ブレゲンツ音楽祭でのアンドレ・チャイコフスキー『ヴェニスの商人』世界初演のシャイロック役の演技も高く評価された。今後も、ウィーン国立歌劇場のほか、ザクセン州立歌劇場、シカゴ・リリック・オペラ、ザルツブルク音楽祭への出演が決まっている。新国立劇場には11年『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ、『こうもり』アイゼンシュタインに続いての登場。2014/2015シーズンは『こうもり』アイゼンシュタインでも出演予定。



主要キャスト・スタッフプロフィール

ドン・ジョヴァンニ

Wolfgang Amadeus Mozart / Don Giovanni

騎士長:妻屋秀和

Il Commendatore : Tsumaya Hidekazu

東京藝術大学卒業、同大学大学院オペラ科修了。1994 ~ 2001年ライプツィヒ歌劇場専属。02~11年ワイマールのドイツ国民劇場専属。これまでにベルリン・ドイツ・オペラ、ベルリン州立歌劇場、ライン・ドイツ・オペラ、スコティッシュ・オペラなどに客演。新国立劇場では『ラ・ボエーム』コッリーネ、『ドン・ジョヴァンニ』騎士長、『セビリアの理髪師』ドン・バジリオ、『アイーダ』ランフィス、『ナブッコ』ベルの祭司長、『夜叉ヶ池』鉱蔵ほか多数出演。2013/2014シーズンは『リゴレット』スパラフチーレに出演のほか、『カルメン』スニガ、『ヴォツェック』医者、『アラベッラ』ヴァルトナー伯爵にも出演予定。2014/2015シーズンは『ドン・カルロ』宗教裁判長、『マノン・レスコー』ジェロント、『ばらの騎士』警部にも出演予定。藤原歌劇団団員。



レポレッロ:ロレンツォ・レガッツォ

Leporello : Lorenzo Regazzo

ヴェネツィア生まれ。これまでにウィーン国立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ミラノ・スカラ座、パリ・オペラ座、英国ロイヤルオペラ、ザルツブルク音楽祭、ロッシーニ・オペラ・フェスティバルなどに出演。モーツァルトとロッシーニを得意とし、『コジ・ファン・トゥッテ』ドン・アルフォンソ、『ドン・ジョヴァンニ』レポレッロ、『アルジェのイタリア女』ムスタファ、『チェネレントラ』ドン・マニフィコなどで好評を博している。2013年には、トリノ王立歌劇場『アルジェのイタリア女』、パリ・オペラ座『コジ・ファン・トゥッテ』、ウィーン国立歌劇場『アルジェのイタリア女』『チェネレントラ』などに出演。今後の予定には、パリ・オペラ座『アルジェのイタリア女』、バルセロナのリセウ劇場『ドン・パスクワーレ』などがある。新国立劇場には 07、10年『フィガロの結婚』に続いての登場。



ドンナ・アンナ: カルメラ・レミージョ

Donna Anna : Carmela Remigio

1992年フィラデルフィアのルチアーノ・パヴァロッティ国際声楽コンクールで優勝後、パレルモのテアトロ・マッシモ『アリス』タイトルロールでオペラデビュー。『フィガロの結婚』伯爵夫人、『皇帝ティートの慈悲』ヴィッテリア、『コジ・ファン・トゥッテ』フィオルディリージ、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナ及びドンナ・エルヴィーラなどモーツァルト作品のほか、『オテロ』デズデーモナ、『シモン・ボッカネグラ』マリアなどヴェルディ作品もレパートリーに持つ。これまでに、ローマ歌劇場、トリエステのヴェルディ劇場、ジェノヴァのカルロ・フェリーチェ歌劇場などイタリア国内の歌劇場のほか、英国ロイヤルオペラ、ロスアンゼルス・オペラなどにも出演。最近では、ローマ歌劇場『トゥーランドット』リュー、パルマのテアトロ・レッジョ『シモン・ボッカネグラ』などに出演。今後の予定には、フェニーチェ歌劇場『皇帝ティートの慈悲』ヴィッテリア及び『放蕩者のなりゆき』アン、ナポリのサン・カルロ歌劇場『エウゲニ・オネーギン』タチヤーナなどがある。新国立劇場初登場。



OPERA | ドン・ジョヴァンニ

ドン・ジョヴァンニ

Wolfgang Amadeus Mozart / Don Giovanni

ドン・オッターヴィオ: パオロ・ファナーレ

Don Ottavio : Paolo Fanale

イタリア・パレルモ出身。歌唱・演技・若さ溢れる恵まれた容姿で高く評価され、今後の活躍が最も期待されるイタリア人テノールの新星。2007年パドヴァ歌劇場『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオでオペラデビュー、"とてつもなく衝撃的"と著名な評論家に称賛された。その後、ボローニャ歌劇場、カターニャのベッリーニ劇場などイタリア国内を中心に、パリのシャンゼリゼ劇場、フィンランド国立歌劇場、ノルウェー国立歌劇場、バルセロナのリセウ歌劇場、ベルリン州立歌劇場などヨーロッパの主要歌劇場に出演。13年はフィレンツェ・テアトロ・コムナーレ『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ、パリ・オペラ座『ファルスタッフ』フェントン、マルセイユ歌劇場『皇帝ティートの慈悲』(ロールデビュー)、バイエルン州立歌劇場『コジ・ファン・トゥッテ』フェルランド、メトロポリタン歌劇場『ファルスタッフ』などに出演。今後の予定には、モデナ市立劇場『皇帝ティートの慈悲』、ミラノ・スカラ座『トロイ人』ハイラス、ネザーランド・オペラ『ファルスタッフ』、サンパウロ市立劇場『コジ・ファン・トゥッテ』などがある。新国立劇場では13年6月『コジ・ファン・トゥッテ』フェルランドで初登場。



ドンナ・エルヴィーラ: アガ・ミコライ
Donna Elvira: Aga Mikolaj

ポーランドのクトノ生まれ。ポーランドおよびウィーン音楽大学で学ぶ。エリザベート・シュワルツコップに師事。『コジ・ファン・トゥッテ』フィオルディリージ、『フィガロの結婚』伯爵夫人、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラ、『魔笛』パミーナなどのモーツァル作品やR.シュトラウス作品をレパートリーとする。1995~2002年ポーランドのポズナニ大劇場で研鑚を積む。02~07年までバイエルン州立歌劇場のメンバー。同劇場にはフリーとなって以後も度々客演するほか、ウィーン国立歌劇場、ベルリン州立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ミラノ・スカラ座、パリ・オペラ座、グラインドボーン音楽祭などヨーロッパ各地に出演。13年は、バイエルン州立歌劇場『ラインの黄金』フライア、ベルリン州立歌劇場、ミラノ・スカラ座、及び英国ロイヤルオペラ『ニーベルングの指環』ヴォークリンデなどに出演。今後の予定には、ボリショイ劇場『こうもり』ロザリンデなどがある。新国立劇場には08年『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラ、11年再演ではドンナ・アンナで出演。

マゼット: 町 英和

Masetto : Machi Hidekazu

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。新国立劇場オペラ研修所第6期修了。平成18年度文化庁新進芸術家在外派遣研修員としてボローニャに留学し、2008年からはロームミュージックファンデーションの研究助成を受けミュンヘンに留学。兵庫県立芸術文化センターで06年『蝶々夫人』、12年『トスカ』、13年『セビリアの理髪師』に出演のほか、10年サイトウ・キネン・フェスティバル松本『サロメ』、12年小澤征爾音楽塾特別演奏会『蝶々夫人』などに出演。新国立劇場では09年芸術祭祝典公演『メリー・メリー・ウィドウ』、10年オペラ研修所公演『ファルスタッフ』タイトルロール、12年『沈黙』通辞、『ドン・ジョヴァンニ』(演奏会形式)マゼットなどに出演している。



主要キャスト・スタッフプロフィール

ドン・ジョヴァンニ

Wolfgang Amadeus Mozart / Don Giovanni

ツェルリーナ: 鷲尾麻衣

Zerlina : Washio Mai

東京藝術大学卒業。新国立劇場オペラ研修所第7期修了。第26回飯塚新人音楽コンクール第1位。セント・アンドリューズ国際コンクール優勝(カナダ)、第7回東京音楽コンクール第2位。文化庁在外派遣研修員としてニューヨークへ留学。ニューヨーク・ハンターカレッジ『安寿と厨子王』安寿でニューヨーク・タイムズ紙に絶賛されたほか、プエルトリコIVAI 『魔笛』夜の女王を好演。帰国後は横浜みなとみらい『フィガロの結婚』ケルビーノ及び『こうもり』アデーレ、サントリーホールアカデミー『愛の妙薬』ジャンネッタ及び『コジ・ファン・トゥッテ』デスピーナ、京王オペレッタフェスタ『メリー・ウィドウ』ヴァランシェンヌ、二期会『魔笛』パパゲーナなどで活躍。新国立劇場では2009年オペラ研修所公演『カルメル会修道女の対話』コンスタンス、文化庁芸術祭祝典『メリー・メリー・ウィドウ』に出演。11~13年ロームミュージックファンデーションの特別研究生としてロンドンにて研鑚をつむ。二期会会員。



 14 OPERA | ドン・ジョヴァンニ
 15

 $2014.11/27 \sim 12/9$

ドン・カルロ

レパートリー Repertoire

Don Carlo

オペラパレス | 5回公演 | 全4幕〈イタリア語上演/字幕付〉

初演: 1867年3月11日/パリ・オペラ座

作曲:ジュゼッペ・ヴェルディ

原作: フリードリヒ・フォン・シラー 「ドン・カルロス」

台本:ジョゼフ・メリ、カミーユ・デュ・ロクル/アキッレ・デ・ラウジェレス、アンジェロ・ザナルディーニ

プロダクションについて

ヴェルディ円熟期の傑作。恋人が父王の妃となった王子の悲しみを軸に、政治・宗教・親子の対立、愛と嫉妬、 友情など、登場人物間の複雑な絡み合いを重厚な音楽で描きあげた壮大な歴史劇です。マルコ・アルトゥーロ・マ レッリ演出の舞台では、牢獄を思わせる壁に囲まれた空間と、十字架が象徴的に使われています。2006年の初演 以来8年ぶりの再演となります。

タイトルロールはセルジオ・エスコバル。著名な指揮者及び歌劇場から多数のオファーが来ている新星リリッ ク・テノールです。このオペラの中核を担うロドリーゴ役は、マルクス・ヴェルバ。指揮は、11年『イル・トロヴァ トーレ』、13年『リゴレット』で好演したピエトロ・リッツォです。





あらすじ

【第1幕】16世紀中頃のスペイン。スペイン王子ドン・カルロは、フランス王女エリザベッタと婚約し、愛し合っ ていたが、彼女はカルロの父でスペイン王フィリッポ二世へ嫁ぐことに。愛する人が母となり、絶望に沈むカル ロ。そんな彼に、親友のポーザ侯爵ロドリーゴは、スペインの圧政からの解放を望むフランドルの民衆の先頭に立 つべきだと進言する。ロドリーゴのはからいでエリザベッタと会うカルロ。フランドル行きの許しをもらえるよ う父に口添えしてほしい、と彼女に頼む。想いが溢れる彼は抱きしめるが、エリザベッタはその腕をほどく。

【第2幕】己の美貌に絶対の自信を持つ女官エボリ公女はカルロを愛しているが、彼はエリザベッタを愛している ことを知り、怒って復讐を誓う。広場で異端者の火刑が始まろうというとき、フランドルの使者を連れたカルロが 現れ、王にフランドルの現状を訴える。拒絶する王にカルロが剣を抜いたため、反逆のかどで投獄される。

【第3幕】妻が自分を愛してくれない孤独に打ちひしがれるフィリッポ二世。そこに来た宗教裁判長に、カルロと フランドルへの対応について意見を求めるが、宗教裁判長はロドリーゴこそが脅威だと告げる。エボリの策略で、 エリザベッタのカルロへの思いの証拠がフィリッポ二世の手に渡る。王がエリザベッタを罵倒するの見たエボリ は己の行動を激しく悔い、王と自分の関係をエリザベッタに告白する。ロドリーゴは、フランドルを扇動した罪を すべて負って逃げる、とカルロに別れを告げるが、王の部下によって暗殺される。

【第4幕】サン・ジュスト修道院。フランドルへ発つカルロは、天上での再会を誓ってエリザベッタと別れる。フィ リッポ二世と宗教裁判長はカルロを捕らえようとするが、先帝カルロ五世の亡霊がカルロを墓に引き入れる。

Repertoire

ジュゼッペ・ヴェルディ ドン・カルロ

Giuseppe Verdi / Don Carlo

全4幕〈イタリア語上演/字幕付〉

指 揮……… ピエトロ・リッツォ

Conductor Pietro Rizzo

演出・美術 ……… マルコ・アルトゥーロ・マレッリ

Production and Scenery Design Marco Arturo Marelli

衣 裳……… ダグマー・ニーファイント=マレッリ Costume Design Dagmar Niefind-Marelli

照 明……………… 八木麻紀 Lighting Design

フィリッポ二世 ……… ラファウ・シヴェク

Filippo II Rafal Siwek

ドン・カルロ …… セルジオ・エスコバル Don Carlo

Sergio Escobar

ロドリーゴ ……… マルクス・ヴェルバ Rodrigo

エリザベッタ・・・・・ファルノッキア Elisabetta di Valois Serena Farnocchia

エボリ公女 ………… ソニア・ガナッシ La Principessa d'Eboli Sonia Ganassi

宗教裁判長……… 妻屋秀和

Tsumaya Hidekazu Il Grande Inquisitore

修道十…………… 大塚博章

Un frate Otsuka Hiroaki

テバルド …………… 山下牧子

Tebaldo Yamashita Makiko

レルマ伯爵/王室の布告者 …… 村上敏明

Il Conte di Lerma/Un araldo reale Murakami Toshiaki

天よりの声 …………… 鵜木絵里 Una voce dal cielo Unoki Eri

新国立劇場合唱団

New National Theatre Chorus

東京フィルハーモニー交響楽団 Orchestra Tokyo Philharmonic Orchestra

2014年11月27日(木) 6:30 6日(土) 2:00

30日(日) 2:00 9日(火) 2:00

12月3日(水) 6:30

オペラパレス

【チケット料金】

S:21,600円·A:16,200円·B:10,800円·C:6,480円·D:3,240円

【前売開始】2014年8月9日(土)

16 OPERA | ドン・カルロ OPERA | ドン・カルロ | 17

ドン・カルロ

Giuseppe Verdi / Don Carlo

指揮:ピエトロ・リッツォ

Conductor: Pietro Rizzo

イタリア・ローマ生まれ。ヴァイオリンを学んだ後、1997 ~ 2000年までヘルシンキのシベリウス・アカデミーで指揮を学ぶ。2000 ~ 03年フィンランド国立歌劇場指揮者、03 ~ 07年エッセン歌劇場第一カペルマイスター、06 ~ 09年イェーテボリ・オペラ首席指揮者を歴任。メトロポリタン歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、フィレンツェ・テアトロ・コムナーレ、スウェーデン王立歌劇場、ヴィーン・フォルクスオーパー、ロッシーニ・オペラ・フェスティバルなどで活躍。イタリアオペラを中心に50以上のレパートリーを持つ。10月に『異国の女』(グルベローヴァ主演)CDをリリース。最近では、13年12月フィンランド国立歌劇場『チェネレントラ』に出演。今後の予定には、ハンブルク州立歌劇場『ルクレツィア・ボルジア』(14年3月)、バイエルン州立歌劇場『椿姫』(同5月)、『カプレーティ家とモンテッキ家』(15年)などがある。新国立劇場には11年『イル・トロヴァトーレ』、13年『リゴレット』に続いての出演。



演出・美術:マルコ・アルトゥーロ・マレッリ

Production and Scenery Design : Marco Arturo Marelli

スイス・チューリッヒ生まれ。生地で学んだ後、ウィーン、ザルツブルク、ベルリンなどでキャリアを重ね、ウィーン・フォルクスオーパー 『魔笛』で演出家デビュー。以来、ハンブルク州立歌劇場『ファルスタッフ』『ドン・ジョヴァンニ』、ウィーン国立歌劇場『無口な女』『夢遊病の女』、ザクセン州立歌劇場『トリスタンとイゾルデ』『カプリッチョ』などヨーロッパ各地の歌劇場で活躍。バロック・オペラから現代作品まで多彩な作品を取り上げており、ニコラウス・アーノンクール、ロジャー・ノリントンなど著名な指揮者から高く評価されている。新国立劇場では 2005 年『フィデリオ』、06 年『ドン・カルロ』を演出。



フィリッポニ世:ラファウ・シヴェク

Filippo II: Rafal Siwek

ポーランド出身。2002年ポーランド国立歌劇場『エウゲニ・オネーギン』グレーミン公 爵でオペラデビュー。これまでに、同歌劇場を含むポーランド国内の歌劇場に出演のほか、ベルリン州立歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、ローマ歌劇場、ボリショイ劇場などに出演している。『ドン・カルロ』フィリッポ二世、『アイーダ』ランフィス、『ナブッコ』ザッカリーア、『リゴレット』スパラフチーレなどヴェルディ作品を中心に、『魔笛』ザラストロ、『セビリアの理髪師』ドン・バジリオ、『トゥーランドット』ティムールなどをレパートリーに持つ。最近では、バイエルン州立歌劇場『さまよえるオランダ人』ダーラント、チューリッヒ歌劇場『ドン・ジョヴァンニ』騎士長、ミラノ・スカラ座『ドン・カルロ』宗教裁判長、バイエルン州立歌劇場『アイーダ』ランフィス、ベルリン州立歌劇場『ドン・カルロ』宗教裁判長などがある。新国立劇場初登場。2014/2015シーズンは『さまよえるオランダ人』ダーラントにも出演予定。



主要キャスト・スタッフプロフィール

ドン・カルロ

Giuseppe Verdi / Don Carlo

ドン·カルロ: セルジオ・エスコバル

Don Carlo: Sergio Escobar

スペイン出身。マドリッドのアルトゥロ・ソリア音楽院及び国立声楽音楽院で学ぶ。2012年にログローニョ市声楽コンクール第1位、モンセラート・カバリエ国際コンクール第2位、ビルバオ国際コンクール第2位を受賞。同年モデナ市立ルチアーノ・パヴァロッティ歌劇場『ドン・カルロ』タイトルロールで大成功を収める。13年はトリエステのヴェルディ劇場『海賊』コッラード、パルマのテアトロ・レッジョ『ナブッコ』イズマエーレ、ボローニャ歌劇場『ノルマ』ポリオーネなどに出演。14年は、トリエステのヴェルディ劇場『アッティラ』、サンパウロ市立劇場『イル・トロヴァトーレ』、ボローニャ歌劇場『仮面舞踏会』に出演予定のほか、著名な指揮者や歌劇場より多数のオファーを受けている新星リリック・テノール。新国立劇場初登場。



ロドリーゴ: マルクス・ヴェルバ

Rodrigo : Markus Werba

オーストリア出身。16歳で声楽を学び始め、クラーゲンフルト音楽院及びウィーン音楽 大学で研鑽を積む。これまでに、ミラノ・スカラ座、英国ロイヤルオペラ、バイエルン州立 歌劇場、ロサンゼルス・オペラ、リヨン歌劇場、パリ・シャトレ座、メトロポリタン歌劇場、ブ エノスアイレスのコロン劇場、サントリーホールなど世界各地の劇場や、ザルツブルク音 楽祭、タングルウッド音楽祭などに出演し、クラウディオ・アバド、ジェフリー・ティト、ケン ト・ナガノ、リッカルド・ムーティ、ジェイムズ・レヴァインなどの名指揮者と共演している。 2013/2014シーズンは、チューリッヒ歌劇場『ドン・ジョヴァンニ』、アン・デア・ウィーン 劇場『コジ・ファン・トゥッテ』ドン・アルフォンソ、ウィーン国立歌劇場『魔笛』パパゲーノ、 英国ロイヤルオペラ『ラ・ボエーム』マルチェッロ、『ナクソス島のアリアドネ』ハルレキン などに出演予定。新国立劇場初登場。



エリザベッタ: セレーナ・ファルノッキア

Elisabetta di Valois : Serena Farnocchia

イタリア・ピエトラサンタ生まれ。1995年フィラデルフィアのルチアーノ・パヴァロッティ国際声楽コンクールで優勝後、ミラノ・スカラ座『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナでオペラデビュー。これまでにミラノ・スカラ座、ローマ歌劇場、バイエルン州立歌劇場、シュトゥットガルト州立歌劇場、フィンランド国立歌劇場、シカゴ・リリック・オペラなどに出演。レパートリーには『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナ、『ファルスタッフ』アリーチェ、『ラ・ボエーム』ミミ、『トゥーランドット』リューなどがある。最近では、チューリッヒ歌劇場『オテロ』デズデーモナ、ザクセン州立歌劇場『ラ・ボエーム』ミミなどに出演。今後の予定には、ローマ歌劇場『マノン・レスコー』タイトルロール、グラインドボーン音楽祭『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラなどがある。新国立劇場には2006年『ファルスタッフ』アリーチェ、09年ニューイヤーオペラパレスガラに続いての登場。



OPERA | ドン・カルロ | 19 |

ドン・カルロ

Giuseppe Verdi / Don Carlo

エボリ公女:ソニア・ガナッシ

La Principessa d'Eboli : Sonia Ganassi

イタリアのレッジョ・エミーリア生まれ。パルマ音楽院で学ぶ。1992年ローマ歌劇場『セビリアの理髪師』ロジーナでオペラデビュー。これまでに、メトロポリタン歌劇場、英国ロイヤルオペラ、ミラノ・スカラ座、バイエルン州立歌劇場、マドリッドのレアル劇場、バルセロナのリセウ劇場など世界の主要歌劇場に出演している。『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラ、『セビリアの理髪師』ロジーナ、『チェネレントラ』アンジェリーナ、『ドン・カルロ』エボリ公女、『カルメン』タイトルロールなど幅広いレパートリーを持つ。最近では、ローマ歌劇場、ラヴェンナ音楽祭及びザルツブルク音楽祭『ナブッコ』フェネーナ、ウィーン国立歌劇場『アンナ・ボレーナ』、リヨン歌劇場及びシャンゼリゼ歌劇場『ノルマ』アダルジーザなどに出演。今後の予定には、ビルバオ歌劇場及びジュネーヴ歌劇場『カルメン』、ローマ歌劇場日本公演『ナブッコ』フェネーナ(14年5月)などがある。新国立劇場には 2000年『セビリアの理髪師』以来の登場となる。





宗教裁判長: 妻屋秀和

Il Grande Inquisitore : Tsumaya Hidekazu

東京藝術大学卒業、同大学大学院オペラ科修了。1994~2001年ライプツィヒ歌劇場専属。02~11年ワイマールのドイツ国民劇場専属。これまでにベルリン・ドイツ・オペラ、ベルリン州立歌劇場、ライン・ドイツ・オペラ、スコティッシュ・オペラなどに客演。新国立劇場では『ラ・ボエーム』コッリーネ、『ドン・ジョヴァンニ』騎士長、『セビリアの理髪師』ドン・バジリオ、『アイーダ』ランフィス、『ナブッコ』ベルの祭司長、『夜叉ヶ池』鉱蔵ほか多数出演。2013/2014シーズンは『リゴレット』スパラフチーレに出演のほか、『カルメン』スニガ、『ヴォツェック』医者、『アラベッラ』ヴァルトナー伯爵にも出演予定。2014/2015シーズンは『ドン・ジョヴァンニ』騎士長、『マノン・レスコー』ジェロント、『ばらの騎士』警部にも出演予定。藤原歌劇団団員。

OPERA |ドン・カルロ

 $2015.1/18 \sim 31$

さまよえるオランダ人



Der fliegende Holländer

オペラパレス | 5回公演 | 全3幕〈ドイツ語上演/字幕付〉

初 演:1843年1月2日/ドレスデン宮廷歌劇場

作曲・台本: リヒャルト・ワーグナー

プロダクションについて

あらすじ

オランダ人船長が神を罵った罰で永遠に海をさまよい続けるという近代イギリスの伝承をもとに、ワーグナー 自身が遭難しかかった体験を重ね合わせて書かれた、初期のオペラ。永遠に海をさまよう呪われたオランダ人船 長を、乙女ゼンタの愛が救う物語で、この「愛と自己犠牲による救済」は本作以降、ワーグナー作品に共通するテーマとなっています。マティアス・フォン・シュテークマン演出により 2007年初演、12年再演を経て、今回が 3度 目の上演となります。

出演は、トーマス・ヨハネス・マイヤー、リカルダ・メルベートとバイロイト音楽祭でも活躍するベテランを主役2役に配したほか、難役エリックにダニエル・キルヒ、ダーラントにラファウ・シヴェク。シヴェクは『ドン・カルロ』フィリッポ二世にも出演します。指揮は飯守泰次郎次期芸術監督です。





2012年2

【第1幕】ノルウェー船が入江に停泊していると、赤い帆の不気味な船が現れる。それは、オランダ人船長の乗る 幽霊船だ。悪魔に呪われたオランダ人船長は死ぬことを許されず、海をさまよっていた。そして7年に一度だけ上 陸を許され、そのとき彼に永遠の貞節を誓う女性が現れれば救われるという。ノルウェー船の船長ダーラントは オランダ人の姿に気づき、幽霊とは知らず声をかける。2人は話すうち、ダーラントの娘ゼンタを妻にもらえるな ら全財産をあげよう、とオランダ人が提案する。金に目がくらんだダーラントはその申し出を受け入れる。

【第2幕】壁にかかるオランダ人船長の肖像画になぜか心惹かれるゼンタ。村の女性たちはみな糸を紡いでいるが、ゼンタは絵に見入って幽霊船の伝説を語り、船長を救えるのは自分だけと確信する。ゼンタを愛する狩人エリックは、ゼンタがオランダ人と共に海に旅立つ夢ばかり見ているので、気が気でない。そんなとき、船が帰港。ダーラントは、オランダ人をゼンタに紹介する。ゼンタは、恋い焦がれたオランダ人が目の前にいることに恍惚とし、彼に貞節を誓う。オランダ人はついに救われるときが来たことを確信する。ダーラントも金銀財宝が手に入ると喜ぶ。

【第3幕】ノルウェー船員たちは、一緒に祝杯を上げようとオランダ船員に声をかけるが、反応がない。次第に恐ろしい声が響き渡り、ノルウェー船員たちは逃げ出す。一方エリックは、かつては自分に愛を誓ったのに、出会ったばかりのオランダ人船長と結婚を決めてしまったゼンタを責める。その2人のやりとりを物陰から見ていたオランダ人は、ゼンタを諦め、再び海へ戻ろうとする。しかしゼンタはオランダ人への愛を固く誓い、海へ身を投げる。するとオランダ船は沈没。光に包まれたオランダ人とゼンタは永遠の救いを得るのだった。

Repertoire レパートリー Repertoire

リヒャルト・ワーグナー

さまよえるオランダ人

Richard Wagner / Der fliegende Holländer

全3幕〈ドイツ語上演/字幕付〉

指 揮······ 飯守泰次郎
Conductor Iimori Taijiro

Production Matthias von Stegmann

美術…… 堀尾辛男 Scenery Design Horio Yukio

衣 裳······ ひびのこづえ Costume Design Hibino Kodue

ゼンタ ……………… リカルダ・メルベート

Senta Ricarda Merbeth

エリック ・・・・・・・ ダニエル・キルヒ Erik Daniel Kirch

マリー …… 竹本節子 Mary Takemoto Setsuko

Wary Takemoto Seisuki

舵手·······望月哲也
Steuermann Mochizuki Tetsuya

オランダ人 …… トーマス・ヨハネス・マイヤー Holländer Thomas Johannes Mayer

合唱·················新国立劇場合唱団 Chorus New National Theatre Chorus

管弦楽······ 東京交響楽団 Orchestra Tokyo Symphony Orchestra

> 2015年1月18日(日) 2:00 28日(水) 7:00 21日(水) 2:00 31日(土) 2:00 25日(日) 2:00

> > オペラパレス

【チケット料金】 S:21,600円・A:16,200円・B:10,800円・C:6,480円・D:3,240円 【前売開始】2014年9月27日(土)

OPERA | さまよえるオランダ人

さまよえるオランダ人

Richard Wagner / Der fliegende Holländer

指揮:飯守泰次郎

Conductor: Iimori Taijiro

桐朋学園短期大学卒業。在学中に藤原歌劇団公演『修道女アンジェリカ』にてデビュー。1966年ミトロプーロス国際指揮者コンクール、69年カラヤン国際指揮者コンクールでともに第4位入賞。72年、芸術選奨新人賞とバルセロナのシーズン最高指揮者賞を受賞。これまでに読売日響指揮者、ブレーメン、マンハイム、ハンブルク、レーゲンスブルクの各歌劇場の指揮者、エンスへデ市立歌劇団第一指揮者、名古屋フィル常任指揮者、東京シティ・フィル常任指揮者、関西フィル常任指揮者を歴任。現在、東京シティ・フィル桂冠名誉指揮者、関西フィル桂冠名誉指揮者。第32回(2000年度)サントリー音楽賞、第54回(03年度)芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2004年紫綬褒章、10年旭日小綬章、12年度文化功労者、日本芸術院賞。新国立劇場では00年『青ひげ公の城』、08年地域招聘公演『ナクソス島のアリアドネ』、12年オペラ研修所公演『フィレンツェの悲劇』『スペインの時』を指揮。2014/2015シーズンはほかに『パルジファル』を指揮する予定。14年9月新国立劇場オペラ芸術監督就任予定。



演出:マティアス・フォン・シュテークマン

Production: Matthias von Stegmann

ミュンヘン生まれ。テレビや映画の翻訳、台本、演出家、俳優として活動を開始。 1991 年よりバイロイト音楽祭に参加、以来第一演出助手を務める。 2002年英国ロイヤルオペラ『ヴォツェック』、04年『ニーベルングの指環』(共に K.ウォーナー演出)でも演出補として参加するなど、多くの演出家の信頼を得ている。 03年メトロポリタン歌劇場『後宮からの逃走』では太守セリムで出演。自ら音楽劇の執筆、演出も手掛けている。新国立劇場では開場記念公演『ローエングリン』で W.ワーグナーの演出助手を務めて以来、『アラベッラ』「魔笛』『サロメ』『ドン・ジョヴァンニ』『フィガロの結婚』『ニーベルングの指環』に参加。 07年『さまよえるオランダ人』で本格的オペラ演出デビューを果たし、12年に再演。 08年は『魔弾の射手』を演出。また、04年こどものためのオペラ劇場『ジークフリートの冒険』の台本・演出を担当、大絶賛を博しウィーン国立歌劇場特設劇場、チューリッヒ歌劇場でも上演された。近年では 12年ミンデンオペラ劇場『トリスタンとイゾルデ』、13年バイロイト音楽祭『リエンツィ』の演出を手掛けている。

ダーランh: ラファウ・シヴェク

Daland: Rafal Siwek



主要キャスト・スタッフプロフィール

さまよえるオランダ人

Richard Wagner / Der fliegende Holländer

ゼンタ:リカルダ・メルベート

Senta: Ricarda Merbeth

ドイツのケムニッツ生まれ。ライプツィヒのメンデルスゾーン音楽大学で学ぶ。ドイツのマグデブルク劇場及びワイマールのドイツ国民劇場で経験を積む。1999年ウィーン国立歌劇場のアンサンブル・メンバーとして『フィデリオ』マルツェリーネで劇場デビュー、その後も出演を重ね、2005年にフリーとなった後も定期的に出演している。バイロイト音楽祭にも2000年『ニーベルングの指環』フライア、ゲルヒルデ、ヘルムヴィーゲ、グートルーネでデビューの後、02、04、05、07年と『タンホイザー』エリーザベトで出演を重ね、13年は『さまよえるオランダ人』ゼンタで出演した。最近では、パリ・オペラ座『エレクトラ』(13年10月)、ウィーン国立歌劇場『フィデリオ』(同12月)に出演。14年の予定には、ウィーン国立歌劇場『さまよえるオランダ人』ゼンタ(9月)、バイエルン州立歌劇場『ナクソス島のアリアドネ』プリマドンナ/アリアドネ(5月)、『影のない女』皇后(12月)などがある。新国立劇場では06年『コジ・ファン・トゥッテ』フィオルディリージ、07年『タンホイザー』エリーザベト、12年『ローエングリン』エルザに出演している。



エリック: ダニエル・キルヒ

Erik : Daniel Kirch



ドイツ出身。ケルン音楽アカデミーで学ぶ。『エウゲニ・オネーギン』レンスキー、『ファルスタッフ』フェントン、『コジ・ファン・トゥッテ』フェルランドなどを歌っていたが、近年、よりドラマティックな役にレパートリーを移行してきている。これまでに、ベルリン州立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ライプツィヒ歌劇場、チューリッヒ歌劇場、ミラノ・スカラ座、ベルギー王立モネ劇場、バルセロナのリセウ劇場などに出演している。最近では、2013年3月ホーフ劇場『死の都』パウルで批評家及び観客から絶賛を浴びた後、ワルシャワ歌劇場『さまよえるオランダ人』エリック、ベルゲン国立歌劇場『フィデリオ』フロレスタンに出演。14年にライプツィヒ歌劇場で『パルジファル』ロールデビューを予定。新国立劇場初登場。

マリー: 竹本節子

Mary: Takemoto Setsuko

大阪音楽大学卒業。これまでに『カルメン』タイトルロール、『ファルスタッフ』クイックリー夫人、『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ、『チェネレントラ』タイトルロールなどを演じる。マーラー『復活』、ヴェルディ『レクイエム』などのソリストとしても活躍、東京都交響楽団をはじめ、国内の主要オーケストラのソリストとしても出演を重ね、デプリースト、セーゲルスタム、ロジェストベンスキーなど、多くの著名な指揮者から確かな実力を認められている。新国立劇場では『フィガロの結婚』マルチェッリーナ、『アンドレア・シェニエ』マデロン/コワニー伯爵夫人、『さまよえるオランダ人』マリー、『神々の黄昏』第一のノルン、『アラベッラ』アデライデ、『夜叉ヶ池』万年姥などに出演。2013/2014シーズンは『フィガロの結婚』マルチェッリーナに出演、『アラベッラ』アデライデでも出演予定。二期会会員。大阪音楽大学客員教授。



 24 OPERA | さまよえるオランダ人

さまよえるオランダ人

Richard Wagner / Der fliegende Holländer

舵手:望月哲也

Steuermann: Mochizuki Tetsuya

東京藝術大学卒業、同大学大学院修了。学部在学中に安宅賞、松田トシ賞受賞。 平成19年度文化庁新進芸術家海外留学制度研修員。ウィーン国立音楽大学研究 課程リート・オラトリオ科に在籍し研鑚。第35回日伊声楽コンコルソ第3位。第11回奏楽堂日本歌曲コンクール第2位。第70回日本音楽コンクール第2位。これまでに『椿姫』アルフレード、『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ、『ラ・ボエーム』ロドルフォなどに出演。新国立劇場では『フィガロの結婚』バジリオ、『アラベッラ』エレメル伯爵、『トリスタンとイゾルデ』牧童、『サロメ』ナラボート、『さまよえるオランダ人』舵手、『ピーター・グライムズ』ホレース・アダムス、『タンホイザー』ヴァルター、『魔笛』タミーノ、『夜叉ヶ池』 晃などに出演し、2013/2014シーズンは『ヴォツェック』アンドレス、『アラベッラ』エレメル伯爵に出演予定。2014/2015シーズンは『マノン・レスコー』エドモンドにも出演予定。二期会会員。





オランダ人: トーマス・ヨハネス・マイヤー

Holländer : Thomas Johannes Mayer

ドイツ生まれ。ケルン音楽大学で声楽をクルト・モルに師事。ミラノ・スカラ座、バイエルン州立歌劇場、パリ・オペラ座、ハンブルク州立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ザルツブルク音楽祭などに出演。『ワルキューレ』ヴォータン、『ジークフリート』さすらい人、『ドン・ジョヴァンニ』『ヴォツェック』タイトルロール、『アラベッラ』マンドリカ、『サロメ』ヨハナーン、『魔弾の射手』カスパールなどを歌っている。最近では、バイエルン州立歌劇場『ニーベルングの指環』ヴォータン(2012年)、バイロイト音楽祭『ローエングリン』テルラムント、ベルリン・ドイツ・オペラ『ワルキューレ』ヴォータン、『マクベス』タイトルロール、『オテロ』イアーゴ(以上13年)などに出演している。今後の予定には、ネザーランド・オペラ『ラインの黄金』『ワルキューレ』ヴォータン及び『ジークフリート』さすらい人、マドリッドのレアル劇場『ローエングリン』テルラムント、ハンブルク州立歌劇場『サロメ』ヨハナーンなどがある。新国立劇場では09年『ヴォツェック』タイトルロール、10年『アラベッラ』マンドリカに出演している。

26 OPERA | さまよえるオランダ人

 $2015.1/29 \sim 2/8$

こうもり



Die Fledermaus

オペラパレス | 5回公演 | 全3幕〈ドイツ語上演/字幕付〉

初演:1874年4月5日/アン・デア・ウィーン劇場

作曲:ヨハン・シュトラウスII世

原作:アンリ・メイヤック、ルドウィック・アレヴィ「大晦日の祝宴」ほか

台本: カール・ハフナー、リヒャルト・ジュネー

プロダクションについて

ワルツ王のシュトラウスⅡ世が手がけたオペレッタの最高傑作『こうもり』。演出は、ウィーン宮廷歌手の称号を持つ名テノール、ハインツ・ツェドニク。ウィーンの気質を熟知し、作品を深く理解している演出家による、小粋でエレガントなプロダクションです。

キャストは、アイゼンシュタイン役にアドリアン・エレート。2011年の新国立劇場公演でも同役を演じたほか、このシーズン (2014/2015) の『ドン・ジョヴァンニ』でもタイトルロールで出演します。他の役にも、ウィーン国立歌劇場やウィーン・フォルクスオーパーなどで活躍する、文字通りウィーンを知り尽くした歌手陣が揃います。





あらすじ

2011年公演より

【第1幕】アイゼンシュタインは公務執行妨害のかどで刑務所に入らねばならず苛立っているが、収監前の気晴らしに、と友人ファルケからオルロフスキー公爵邸の夜会へ誘われる。一方、小間使いアデーレも姉イーダから夜会に誘われていて、どうにかして出かけるため「重病の叔母を見舞うため休みがほしい」とひと芝居打つ。アイゼンシュタインの妻ロザリンデは夫の不在を寂しがるが、その間に昔憧れたテノール歌手アルフレードと情事を楽しもうと企んでいる。3人は表向き悲しみに暮れているが、本心はウキウキ。夫の外出後ロザリンデはさっそくアルフレードと楽しもうとしたとき刑務所長フランクが来て、人違いでアルフレードを収監してしまう。

【第2幕】オルロフスキー公爵の夜会。アイゼンシュタインとフランクが鉢合わせするが、お互いフランスの貴族だと自己紹介し、しどろもどろのフランス語で意気投合する。ロザリンデのドレスを拝借したアデーレは、ロシアの女優になりすまして登場。仮面をつけたハンガリーの貴婦人がやってくるが、実はロザリンデ。正体に気づかないアイゼンシュタインは口説こうとするも、口説き道具の懐中時計を彼女に奪われてしまう。シャンパンで乾杯し、宴もたけなわ。朝6時の収監の時間になり、アイゼンシュタインとフランクは大慌てで館をあとにする。【第3幕】刑務所。夜会の余韻に浸るフランク。アイゼンシュタインは、収監されるために刑務所に行くと、フランクがいてびっくり。お互い正体を明かすが、すでに自分が収監されていると聞き、驚き怒るアイゼンシュタイン。そこにロザリンデがやってきた。アイゼンシュタインは妻の不貞を責めるが、彼女は例の懐中時計を差し出す。こでファルケが、すべては自分が仕組んだ"こうもりの復讐"だったと種明かし。茶番劇はにぎやかに幕となる。

Repertoire レパートリー Repertoire

ヨハン・シュトラウスII世

こうもり

Johann Strauss II / Die Fledermaus

全3幕〈ドイツ語上演/字幕付〉

ネ 揮………………… アルフレート・エシュヴェ

Conductor Alfred Eschwé

美術・衣裳……………… オラフ・ツォンベック

Scenery & Costume Design Olaf Zombeck

振 付……………マリア・ルイーズ・ヤスカ

Choreographer Maria Luise Jaska

ガブリエル・フォン・アイゼンシュタイン … アドリアン・エレート

Gabriel von Eisenstein Adrian Eröd

ロザリンデ ······ アレクサンドラ・ラインプレヒト Rosalinde Alexandra Reinprecht

フランク …………… フランク・ブレース

Frank Blees

オルロフスキー公爵・・・・・ ツォルヤーナ・クシュプラー Prinz Orlofsky Zoryana Kushpler

アルフレード…………… 村上公太

Alfred Murakami Kota

ファルケ博士 ………… クレメンス・ザンダー

Adele Jennifer O'Loughlin

ブリント博士…………… 大久保光哉

Dr. Blind Okubo Mitsuya

フロッシュ ……… ボリス・エダー

Frosch Boris Eder

イーダ ・・・・・・ 鷲尾麻衣 Ida Washio Mai

合唱·····················新国立劇場合唱団 Chorus 新国立劇場合唱団 New National Theatre Chorus

管弦楽………………… 東京交響楽団

Orchestra Tokyo Symphony Orchestra

2015年1月29日(木) 7:00 6日(金) 7:00

2月1日(日) 2:00 8日(日) 2:00

4日(水) 2:00

オペラパレス

【チケット料金】

S:23,760円·A:19,440円·B:12,960円·C:7,560円·D:4,320円 【前売開始】2014年9月28日(日)

28 OPERA | こうもり 29

こうもり

Johann Strauss II / Die Fledermaus

指揮:アルフレート・エシュヴェ

Conductor : Alfred Eschwé

ウィーン生まれ。ウィーン・コンセルヴァトリウムならびにウィーン音楽大学でピアノ、ヴァイオリン、指揮法の研鑽を積む。1989年にウィーン・フォルクスオーパーの指揮者として活動を開始。『こうもり』『メリー・ウィドウ』などのオペレッタのほか、『カルメン』『椿姫』『サロメ』などオペラ作品も指揮。98年よりハンブルク州立歌劇場でも定期的に指揮するほか、ウィーン国立歌劇場にも2003年『魔笛』で初登場後、『愛の妙薬』の指揮で度々登場している。そのほか、バイエルン州立歌劇場、チューリッヒ歌劇場、トリノ王立歌劇場、トリエステのヴェルディ劇場、カターニャ歌劇場、パレルモのテアトロ・マッシモなどでも客演している。ヨハン・シュトラウスの優れた解釈者として知られ、定期的に欧米諸国や日本、韓国にオーケストラを率いてシュトラウスの作品を演奏、CDも数多い。12年ウィーン・フォルクスオーパー日本公演でも『こうもり』を指揮。新国立劇場には09年『魔笛』に続いての登場。



演出:ハインツ・ツェドニク

Production : Heinz Zednik

ウィーン生まれ。1964年グラーツ歌劇場と契約を結び、翌年、ウィーン国立歌劇場に移る。80年には宮廷歌手の称号を授与される。94年ウィーン国立歌劇場の名誉会員となり、97年にはフィデリオ・メダルを授与されている。これまでにバイロイト音楽祭、ウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場、パリ・オペラ座、バイエルン州立歌劇場など、世界の主要な歌劇場に出演。オペラとオペレッタのレパートリーは 100役を超える。特に『こうもり』に関しては 4役をレパートリーにしており、この演目に関してのエキスパートとして知られている。新国立劇場には、2004年『スペインの時』トルケマダ、『サロメ』ヘロデ、『ファルスタッフ』医師カイウスに出演。06年『こうもり』で演出家として世界デビューを果たし、11年に再演、今回が2度目の再演となる。08年にはウィーン・フォルクスオーパー『こうもり』で演出家兼フロッシュで来日している。



ガブリエル・フォン・アイゼンシュタイン: アドリアン・エレート

Gabriel von Eisenstein: Adrian Eröd

オーストリア出身。2001年グノー『ロメオとジュリエット』マキューシオでウィーン国立歌劇場にデビュー。ウィーン国立歌劇場の専属歌手として、『セビリアの理髪師』フィガロ、マスネ『マノン』レスコーなどで出演を重ねる。また、フェニーチェ歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、フランクフルト州立歌劇場、パリ・オペラ座、ヒューストン・グランド・オペラなどにも出演。09年に『ニュルンベルクのマイスタージンガー』ベックメッサーでバイロイト音楽祭に初登場後は、同役でチューリッヒ歌劇場、ライプツィヒ歌劇場、ネザーランド・オペラなどに出演を重ねた。また、『ラインの黄金』ローゲ役は国際的に高い関心を集め、ブレゲンツ音楽祭でのアンドレ・チャイコフスキー『ヴェニスの商人』世界初演のシャイロック役の演技も高く評価された。今後も、ウィーン国立歌劇場のほか、ザクセン州立歌劇場、シカゴ・リリック・オペラ、ザルツブルク音楽祭への出演が決まっている。新国立劇場には11年『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ、『こうもり』アイゼンシュタインで出演。2014/2015シーズンは『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロールにも出演予定。



主要キャスト・スタッフプロフィール

こうもり

Johann Strauss II / Die Fledermaus

ロザリンデ: アレクサンドラ・ラインプレヒト

Rosalinde: Alexandra Reinprecht

ウィーン出身。トリエステのタルティーニ音楽院を卒業。在学中よりトリエステのヴェルディ劇場に出演。これまでに、ザンクトガレン劇場、グラーツ歌劇場、シュトゥットガルト州立歌劇場、ウィーン・フォルクスオーパーに所属し、現在はウィーン国立歌劇場に所属。最近では、同劇場にて『こうもり』ロザリンデ、『フィガロの結婚』スザンナ、『愛の妙薬』アディーナ、『アラベッラ』ズデンカ、『魔笛』パミーナ、『ファウスト』マルグリートなどを歌うほか、ウィーン・フォルクスオーパー『メリー・ウィドウ』ハンナ・グラヴァリ、エッセン歌劇場及びメルビッシュ湖上音楽祭にて『こうもり』ロザリンデ、ジョルジュ・エネスコ音楽祭『ニーベルングの指環』フライア及びグートルーネなどに出演。2012年ウィーン・フォルクスオーパー日本公演では『メリー・ウィドウ』ハンナ・グラヴァリに出演。新国立劇場初登場。



フランク: フランク・ブレース

Frank: Frank Blees

ドイツ・ザールラント州ノイキルヒェン生まれ。エリカ・ケート、ビルギット・ニルソン、ヴァルター・ベリーの元で学ぶ。カイザースラウテルン歌劇場などの専属歌手を経て、1990~2007年フリーの歌手として活躍。2007/2008シーズンよりメクレンブルク州立歌劇場アンサンブル・メンバーを務めた後、2012/2013シーズンよりドレスデン州立オペレッタ劇場アンサンブル・メンバーとして、『こうもり』フランク、『ヴェネツィアの一夜』バルトロメオ・デラックワ、『ジプシー男爵』ジュパーン、『魔笛』ザラストロなどに出演している。『さまよえるオランダ人』タイトルロール、『ラインの黄金』ヴォータン、『青ひげ公の城』青ひげ公、『魔弾の射手』カスパール、『ヘンゼルとグレーテル』ペーター、『フィデリオ』ドン・ピツァロ、『ドン・カルロ』フィリッポニ世などのドラマティックな役から、モーツァルト作品、オペレッタまでレパートリーは幅広い。新国立劇場初登場。



オルロフスキー公爵:ツォルヤーナ・クシュプラー

Prinz Orlofsky : Zoryana Kushpler

ウクライナ出身。1993年、リヴィフ音楽院にて父イゴール・クシュプラーの指導により 声楽を始める。在学中にリヴィフ国立オペラ劇場にて『セビリアの理髪師』ロジーナ及 び『リゴレット』マッダレーナでオペラデビュー。2007年よりウィーン国立歌劇場アンサ ンブル・メンバーとして、『仮面舞踏会』ウルリカ、『ナブッコ』フェネーナ、『運命のカ』 プレツィオジッラ、『エウゲニ・オネーギン』オルガなどを歌っている。同歌劇場 2012/2013シーズンは、『アラベッラ』アデライデ、『蝶々夫人』スズキ、『ニュルン ベルクのマイスタージンガー』マグダレーナ、『こうもり』オルロフスキー公爵で絶賛を博したほ か、10月ウィーン国立歌劇場日本公演『フィガロの結婚』マルチェッリーナで来日。13 年2月にはバンベルク交響楽団『神々の黄昏』に出演した。新国立劇場初登場。



OPERA | こうもり | 31 |

こうもり

Johann Strauss II / Die Fledermaus

アルフレード:村上公太

Alfred: Murakami Kota

東京音楽大学声楽演奏家コース卒業。新国立劇場オペラ研修所第6期修了。文化 庁在外派遣研修員としてイタリア・ボローニャへ留学。ジュゼッペ・ディ・ステファノ国際 コンクールにおいて『リゴレット』マントヴァ公爵役を獲得。シンガポール・リリック・オペ ラにて『ラ・ボエーム』ロドルフォ、『魔笛』タミーノ、『サロメ』ナラボートで出演し、現地 にて好評を博す。新国立劇場ではオペラ研修所公演に度々出演のほか、平成24年 度高校生のためのオペラ鑑賞教室『ラ・ボエーム』パルピニョールに出演。今回アルフ レード役に抜擢された期待のテノール。二期会会員。



ファルケ博士: クレメンス・ザンダー

Dr. Falke : Klemens Sander

オーストリア出身。ウィーン音楽大学で研鑽を積む。在学中の2001年にウィーン・フォルクスオーパー『ペンザンスの海賊』でオペラデビュー。これまでにバーデン州立歌劇場カールスルーエ及びウィーン・フォルクスオーパーの専属歌手として、『魔笛』パパゲーノ、『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵、『愛の妙薬』ベルコーレ、『ラインの黄金』ドンナー、『エウゲニ・オネーギン』タイトルロール、『ラ・ボエーム』マルチェッロ及びショナール、『道化師』シルヴィオ、『こうもり』ファルケ博士などに出演。ほかにも、ルクセンブルク大劇場『魔笛』パパゲーノ、ザルツブルク音楽祭『烙印を押された人々』(ケント・ナガノ指揮)、リトアニア国立歌劇場『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵などに出演。今後の予定には、ウィーン・フォルクスオーパー『魔笛』パパゲーノ、『トゥーランドット』ピンなどがある。新国立劇場初登場。

アデーレ: ジェニファー・オローリン

Adele : Jennifer O'Loughlin

米国出身。ピーボディ音楽院ならびにマンハッタン音楽院で学んだ後、カラヤン基金を得てチューリッヒ歌劇場オペラ・スタジオに参加。翌シーズンよりウィーン・フォルクスオーパーのアンサンブル・メンバーとして8年在籍。これまでに、ウィーン・フォルクスオーパー『リゴレット』ジルダ、ジュネーヴ歌劇場『魔笛』パミーナ、ザルツブルク音楽祭『フィガロの結婚』スザンナ、ウィーン国立歌劇場及びハンブルク州立歌劇場『魔笛』夜の女王などで成功を収める。最近では、ミュンヘン・ゲルトナープラッツ劇場『セメレ』タイトルロール (2013年11月) に出演。今後の予定には、同劇場『後宮からの誘拐』コンスタンツェ(14年1~3月)、ミネソタ・オペラ及びサンティアゴ・テアトロ・ムニシパルでの『魔笛』夜の女王などがある。13年パリ・オペラ・アワードで『ルチア』狂乱の場を歌い、マリア・カラス賞及び聴衆賞を受賞。12年ウィーン・フォルクスオーパー日本公演では『ウィンザーの陽気な女房たち』フルート夫人役で来日。新国立劇場初登場。



32 OPERA | こうもり

 $2015.3/9 \sim 21$

マノン・レスコー

新制作 New production

Manon Lescaut

オペラパレス | 5回公演 | 全4幕〈イタリア語上演/字幕付〉

初演:1893年2月1日/トリノ王立歌劇場

作曲:ジャコモ・プッチーニ

原作:アベ・プレヴォー「騎士デ・グリューとマノン・レスコーの物語」

台本:マルコ・プラーガ、ドメニコ・オリーヴァ、ジュリオ・リコルディ、ルイージ・イッリカ ほか

プロダクションについて

プッチーニ3作目のオペラ。この作品でプッチーニは一躍脚光を浴びることになりました。自由奔放な美少女マノンと彼女に純愛を捧げる騎士デ・グリューの転落の物語で、全幕を通して甘く美しい音楽が流れます。

本プロダクションは、2011年3月に東日本大震災の影響で公演中止を余儀なくされました。この度4年の歳 月を経ての上演となります。マノン役を歌うブルガリアのソプラノ、スヴェトラ・ヴァッシレヴァをはじめ、主な 歌手は全て同じ配役が実現しました。指揮は、欧州各地の主要歌劇場で活躍するピエール・ジョルジョ・モラン ディ。

演出は、14年5月の新制作『カヴァレリア・ルスティカーナ/道化師』を演出するジルベール・デフロです。





ベルリン・ドイツ・オペラ公演より @Bernd Uhlig

あらすじ

【第1幕】アミアンの旅籠屋の中庭は大勢の人で賑わっている。騎士デ・グリューがその場にたたずんでいると、乗合馬車が到着し、美しい少女マノンが降りてくる。彼女は兄レスコーに連れられ、修道院に入る道中だったが、デ・グリューは彼女に一目惚れ。マノンも彼に対して悪い気はしていない。しかし馬車に一緒に乗っていた大臣ジェロントもマノンを気に入り、彼女を連れ去ろうと企んでいた。その計画を知ったデ・グリューはマノンに一緒に逃げるよう誘い、またマノンも修道院に入りたくないため、2人でパリへの逃避行へと旅立つ。

【第2幕】贅沢好きなマノンはデ・グリューとの貧乏暮らしが耐えられず、結局ジェロントの愛人になり、豪勢に生活している。しかし愛のない暮らしに心が満たされず、贅沢な生活にも飽きている。そんなとき館にデ・グリューがやってくる。どうして自分を捨てたのか、君なしでは生きていけないと熱烈に迫るデ・グリューに、マノンも再び心に愛の炎を灯す。2人は抱き合うが、その場にジェロントが帰宅。マノンはジェロントの老いを馬鹿にする。怒ったジェロントは警察を呼ぶ。2人は逃げるが、宝石に執着して出遅れたマノンは捕まってしまう。

【第3幕】ル・アーヴルの港。ニューオーリンズへ流刑される囚人たちが捕らえられている。レスコーとデ・グリューはマノンを取り戻そうと奔走するが、計画は失敗。デ・グリューは、何でも仕事をするから自分もニューオーリンズに連れていってほしい、と涙ながらに看守に頼む。願いは聞き入れられ、彼も船に乗り込む。

【第4幕】ニューオーリンズ。不祥事を起こして居留地を逃げ出すマノンとデ・グリュー。荒野をさまよい歩くが、マノンの体力は衰え、もう動くことができない。マノンはデ・グリューへの愛を語り、水を求め、息絶える。

New production 新制作 New production

ジャコモ・プッチーニ

マノン・レスコー

Giacomo Puccini / Manon Lescaut

全4幕〈イタリア語上演/字幕付〉

旨 揮………………… ピエール・ジョルジョ・モランディ

Conductor Pier Giorgio Morandi 演 出…………ジルベール・デフロ

演 出・・・・・・テル Production Gilbert Deflo

装置・衣裳 ………… ウィリアム・オルランディ

Set & Costume Design William Orlandi

照 明・・・・・・・ヴェントゥーリ Lighting Design Roberto Venturi

マノン・レスコー …………… スヴェトラ・ヴァッシレヴァ

Manon Lescaut Svetla Vassileva

デ・グリュー・・・・・・・・・・ゲスターヴォ・ポルタ Des Grieux Gustavo Porta

レスコー ……………… ダリボール・イェニス

 Lescaut
 Dalibor Jenis

 ジェロント ……
 妻屋秀和

ジェロント ······ 妻屋秀和 Geronte 妻屋秀和 Tsumaya Hidekazu

L'oste Shikano Yoshiyuki

舞踏教師……………… 羽山晃生

Il maestro di ballo Hayama Kosei

音楽家…………… 井坂 惠

Un musico Isaka Megumi

軍 曹······ 大塚博章
Sergente degli arcieri 大塚博章
Otsuka Hiroaki

点灯夫……… 松浦 健

Un lampionaio Matsuura Ken

海軍司令官……………… 森口賢二

Un comandante di marina Moriguchi Kenji

合 唱……………… 新国立劇場合唱団

Chorus New National Theatre Chorus

管弦楽……… 東京交響楽団

Orchestra Tokyo Symphony Orchestra

本公演は、ベルリン・ドイツ・オペラの協力により上演されます。

(舞台装置・衣裳・小道具製作:ベルリン・ドイツ・オペラ/フィンランド国立歌劇場)

2015年3月9日(月) 7:00 18日(水) 2:00

12日(木) 7:00 21日(土・祝) 2:00

15日(日) 2:00

オペラパレス

【チケット料金】

S:27,000円・A:21,600円・B:15,120円・C:8,640円・D:5,400円

【前売開始】2014年10月25日(土)

0PERA | マノン・レスコー | 35 |

マノン・レスコー

Giacomo Puccini / Manon Lescaut

指揮:ピエール・ジョルジョ・モランディ

Conductor: Pier Giorgio Morandi

ミラノのジュゼッペ・ヴェルディ音楽院で作曲を学び、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院で指揮を学ぶ傍ら、ミラノ・スカラ座でリッカルド・ムーティ、ジュゼッペ・パタネーのアシスタントとして経験を積む。1987年米国タングルウッドでレナード・バーンスタイン、小澤征爾に指揮を学ぶ。89年ローマ歌劇場首席指揮者。91~96年ブダペスト国立歌劇場の首席客演指揮者。幅広いイタリア・オペラのレパートリーを持ち、90年よりイタリア国内はもとより世界各地の主要歌劇場で客演指揮者として活動している。現在、ストックホルム王立歌劇場首席客演指揮者。最近の活動としては、オスロのノルウェー国立オペラ・バレエ『アイーダ』、ストックホルム王立歌劇場「トスカ」『仮面舞踏会』、ザクセン州立歌劇場『愛の妙薬』『ラ・ボエーム』『ドン・カルロ』、ミラノ・スカラ座『マクベス』などを指揮。今後の予定には、ザクセン州立歌劇場『蝶々夫人』、ミラノ・スカラ座『ドン・カルロ』『アイーダ』『ランメルモールのルチア』などがある。新国立劇場初登場。



演出:ジルベール・デフロ

Production : Gilbert Deflo

ベルギー・フランドル地方生まれ。ブリュッセルで学んだ後、ミラノ・ピッコロ・テアトロで、ジョルジョ・ストレーレルに師事。フランクフルトでの『3つのオレンジへの恋』演出を皮切りに、ハンブルクでの『セビリアの理髪師』『ル・グラン・マカーブル』、ウェルシュ・ナショナル・オペラ『影のない女』などを演出。その後、モンテヴェルディからツェムリンスキー『夢見るゲールゲ』に至るまで、150作品を超えるオペラ演出を手がけている。ベルリン・ドイツ・オペラ、ミラノ・スカラ座、ヴェローナ野外劇場、パリ・オペラ座、バルセロナのリセウ劇場など世界各地で活躍。最近の公演では、ワルシャワ国立歌劇場及びミラノ・スカラ座日本公演『リゴレット』などがある。今後の予定には、中国国家大劇院『ナブッコ』再演(ドミンゴ指揮)、同劇場『ばらの騎士』新演出(2015年)などがある。フランス政府から芸術文化勲章を授与されている。新国立劇場では14年5月『カヴァレリア・ルスティカーナ/道化師』で初登場。



マノン・レスコー: スヴェトラ・ヴァッシレヴァ

Manon Lescaut : Svetla Vassileva

ブルガリア生まれ。これまでにウィーン国立歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、ミラノ・スカラ座、英国ロイヤルオペラ、パリ・オペラ座、ジュネーヴ歌劇場、サンフランシスコ・オペラ、ワシントン・オペラ、シカゴ・リリック・オペラなどに出演。『マノン・レスコー』『蝶々夫人』『トスカ』『フランチェスカ・ダ・リミニ』タイトルロール、『ファルスタッフ』アリーチェ、『トゥーランドット』リュー、『オテロ』デズデーモナなどを歌っている。最近では、パリ・オペラ座『ファルスタッフ』アリーチェ(13年2月)、トリノ王立歌劇場『エウゲニ・オネーギン』タチヤーナ(5月)、シドニー・オペラ・ハウス『運命のカ』レオノーラ(6月)などに出演。今後の予定には、パリ・オペラ座『蝶々夫人』タイトルロール、モンテカルロ歌劇場『エルナーニ』エルヴィーラなどがある。新国立劇場初登場。



主要キャスト・スタッフプロフィール

マノン・レスコー

Giacomo Puccini / Manon Lescaut

デ・グリュー: グスターヴォ・ポルタ

Des Grieux : Gustavo Porta

アルゼンチン・コルドバ生まれ。1996年にブエノスアイレスのコロン劇場『魔笛』モノスタトスでオペラデビュー。これまでにウィーン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ライプツィヒ歌劇場、フランクフルト州立歌劇場、ライン・ドイツ・オペラ、パレルモのテアトロ・マッシモなどに出演。『オテロ』タイトルロール、『アイーダ』ラダメス、『マノン・レスコー』デ・グリュー、『トスカ』カヴァラドッシ、『カルメン』ドン・ホセ、『カヴァレリア・ルスティカーナ』トゥリッドゥ、『道化師』カニオなどをレパートリーとする。最近では、ワルシャワ国立歌劇場『ドン・カルロ』タイトルロールなどに出演。今後の予定には、パレルモのテアトロ・マッシモ『オテロ』、中国国家大劇院『オテロ』『道化師』などがある。新国立劇場には14年5月『道化師』カニオで初登場。



レスコー: ダリボール・イェニス

Lescaut : Dalibor Jenis

スロヴァキア共和国生まれ。ブラチスラヴァ音楽院で学び、イタリアに留学。これまでにスロヴァキア国立歌劇場をはじめ、ウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、ベルリン・ドイツ・オペラ、ハンブルク州立歌劇場、パリ・オペラ座、英国ロイヤルオペラなどに出演。『セビリアの理髪師』フィガロ、『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、『ナブッコ』タイトルロール、『椿姫』ジェルモン、『ドン・カルロ』ロドリーゴ、『マノン・レスコー』レスコー、『ラ・ボエーム』マルチェッロ、『エウゲニ・オネーギン』タイトルロールなどを歌っている。最近では、スロヴァキア国立歌劇場『椿姫』『ナブッコ』『マクベス』『オテロ』、ベルリン・ドイツ・オペラ『ドン・カルロ』などに出演。今後の予定には、シドニー・オペラ・ハウス『エウゲニ・オネーギン』、ハンブルク州立歌劇場『セビリアの理髪師』『ドン・ジョヴァンニ』、スロヴァキア国立歌劇場『ドン・ジョヴァンニ』などがある。新国立劇場では2012年『セビリアの理髪師』フィガロで好評を博した。



ジェロント: 妻屋秀和

Geronte : Tsumaya Hidekazu

東京藝術大学卒業、同大学大学院オペラ科修了。1994 ~ 2001年ライプツィヒ歌劇場専属。02 ~ 11年ワイマールのドイツ国民劇場専属。これまでにベルリン・ドイツ・オペラ、ベルリン州立歌劇場、ライン・ドイツ・オペラ、スコティッシュ・オペラなどに客演。新国立劇場では『ラ・ボエーム』コッリーネ、『ドン・ジョヴァンニ』騎士長、『セビリアの理髪師』ドン・バジリオ、『アイーダ』ランフィス、『ナブッコ』ベルの祭司長、『夜叉ヶ池』鉱蔵ほか多数出演。2013/2014シーズンは『リゴレット』スパラフチーレに出演のほか、『カルメン』スニガ、『ヴォツェック』医者、『アラベッラ』ヴァルトナー伯爵にも出演予定。2014/2015シーズンは『ドン・ジョヴァンニ』騎士長、『ドン・カルロ』宗教裁判長、『ばらの騎士』警部にも出演予定。藤原歌劇団団員。



0PERA | マノン・レスコー | 37 |

マノン・レスコー

Giacomo Puccini / Manon Lescaut

エトモンド:望月哲也

Edmondo : Mochizuki Tetsuya

東京藝術大学卒業、同大学大学院修了。学部在学中に安宅賞、松田トシ賞受賞。 平成19年度文化庁新進芸術家海外留学制度研修員。ウィーン国立音楽大学研究 課程リート・オラトリオ科に在籍し研鑚。第35回日伊声楽コンコルソ第3位。第11回奏楽堂日本歌曲コンクール第2位。第70回日本音楽コンクール第2位。これまでに『椿姫』アルフレード、『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ、『ラ・ボエーム』ロドルフォなどに出演。新国立劇場では『フィガロの結婚』バジリオ、『アラベッラ』エレメル伯爵、『トリスタンとイゾルデ』牧童、『サロメ』ナラボート、『さまよえるオランダ人』舵手、『ピーター・グライムズ』ホレース・アダムス、『タンホイザー』ヴァルター、『魔笛』タミーノ、『夜叉ヶ池』晃などに出演し、2013/2014シーズンは『ヴォツェック』アンドレス、『アラベッラ』エレメル伯爵に出演予定。2014/2015シーズンは『さまよえるオランダ人』 舵手にも出演予定。二期会会員。



38 OPERA | マノン・レスコー

 $2015.4/2 \sim 14$

運命の力



La Forza del Destino

オペラパレス | 5回公演 | 全4幕〈イタリア語上演/字幕付〉

初演:1862年11月10日/マリインスキー劇場(サンクトペテルブルク)

作曲:ジュゼッペ・ヴェルディ

原作:リヴァス公爵ドン・アンヘル・デ・サーヴェドラ「ドン・アルヴァーロ、または運命の力」

台本:フランチェスコ・マリア・ピアーヴェ、アントーニオ・ギスランツォーニ(改訂版)

プロダクションについて

スペインの侯爵令嬢レオノーラ、インカの王族の末裔ドン・アルヴァーロ、レオノーラの兄ドン・カルロ、彼ら の非情な運命と血塗られた結末を描いたヴェルディ中期の傑作。スペイン出身のエミリオ・サージの演出は、時 代設定を20世紀に移し、プレツィオジッラやフラ・メリトーネなど喜劇的な要素の人物像も克明に打ち出すこと で、本筋の暗さとの対比をつけています。

8年ぶりの上演となる今回は、欧州各地で活躍する歌手たち、イアーノ・タマー、ゾラン・トドロヴィッチ、マル コ・ディ・フェリーチェが出演します。さらに、2014年1月の『カルメン』でタイトルロールを演じるケテワン・ ケモクリーゼが、プレツィオジッラ役で登場。指揮は、マッシモ・ザネッティです。





あらすじ

【第1幕】 セビリアのカラトラーヴァ侯爵の娘レオノーラは、ドン・アルヴァーロと愛しあっているが、アルヴァー ロがインカ帝国の王家の血筋ゆえ、カラトラーヴァ侯爵は2人の関係を認めない。そこで2人は駆け落ちしよう とするが、父に見つかってしまう。アルヴァーロが誠意を示すため拳銃を投げ捨てると、運悪く銃が暴発し、父に 当たってしまう。父は2人の運命を呪う言葉を吐いて、亡くなる。2人の逃亡生活が始まる。

【第2幕】18か月後。カラトラーヴァ侯爵の息子ドン・カルロは、父の敵アルヴァーロとレオノーラの行方を追い 続け、今日は酒場にいる。アルヴァーロとはぐれたレオノーラは男に扮し、酒場に来るが、兄に気づき姿を消す。 彼女は険しい山にある修道院に着き、隠遁生活を送りたいと願う。願いは聴き入れられ、裏山の洞窟へ入る。

【第3幕】偽名でイタリア軍の兵士になったアルヴァーロは戦場にいる。カルロも偽名で兵士となり、お互い正体 を知らぬまま友情を結ぶ。そんなときアルヴァーロは戦闘で重傷を負い、死を覚悟してカルロに最期の頼みをす るが、そこから正体がばれてしまう。カルロはアルヴァーロに決闘を挑むが、周囲の人に止められる。

【第4幕】5年後。カルロが修道院にやってきて、ラファエロ神父との面会を望む。ラファエロ神父こそ、アルヴァー ロだった。カルロは決闘を申し込むが、神に仕える身のアルヴァーロは拒む。しかしカルロが吐く侮辱の言葉に耐 えきれず、剣を手にして決闘を始める。カルロは敗れて瀕死となるが、アルヴァーロは、呪われた自分では最後を 見取れない、と代わりの人を探して洞窟の前へ。そしてついにレオノーラと再会する。しかし喜びも束の間、カル ロが最後の力を振り絞ってレオノーラを刺す。レオノーラは、アルヴァーロを許すよう神に祈り、息絶える。

Repertoire

ジュゼッペ・ヴェルディ

Giuseppe Verdi / La Forza del Destino

全4幕〈イタリア語上演/字幕付〉

Isono Mutsumi

指 揮…… マッシモ・ザネッティ Conductor Massimo Zanetti

演 出………… エミリオ・サージ

Production Emilio Sagi

美術・衣裳 ………… ローレンス・コルベッラ Scenery & Costume Design Llorens Corbella

照 明………… 磯野 睦

Lighting Design

レオノーラ …………イアーノ・タマー Iano Tamar Donna Leonora

ドン・アルヴァーロ ……… ゾラン・トドロヴィッチ Don Alvaro Zoran Todorovich

ドン・カルロ………… マルコ・ディ・フェリーチェ Marco di Felice

Don Carlo

プレツィオジッラ ………… ケテワン・ケモクリーゼ

Preziosilla Ketevan Kemoklidze

グァルディアーノ神父 …… 松位 浩 Matsui Hiroshi Padre Guardiano

フラ・メリトーネ ………… マルコ・カマストラ

Fra Melitone Marco Camastra

カラトラーヴァ侯爵 ………… 久保田真澄 Il Marchese di Calatrava Kubota Masumi

マストロ・トラブーコ 松浦 健 Mastro Trabuco Matsuura Ken

新国立劇場合唱団

Chorus New National Theatre Chorus

管弦楽…………東京フィルハーモニー交響楽団 Orchestra

Tokyo Philharmonic Orchestra

2015年4月2日(木) 6:30 11日(土) 2:00

5日(日) 2:00 14日(火) 2:00

8日(水) 6:30

オペラパレス

【チケット料金(税込)】

S:21,600円·A:16,200円·B:10,800円·C:6,480円·D:3,240円 【前売開始】2014年11月24日(月・祝)

40 OPERA | 運命の力 OPERA | 運命の力 | 41

運命の力

Giuseppe Verdi / La Forza del Destino

指揮:マッシモ・ザネッティ

Conductor: Massimo Zanetti

イタリア出身。これまでに、ベルリン州立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ザクセン州立歌劇場、チューリッヒ歌劇場、ミラノ・スカラ座、パリ・オペラ座、英国ロイヤルオペラ、シカゴ・リリック・オペラ、シドニー・オペラ・ハウスなど名だたる歌劇場に出演。1999~2002年アントワープのフランダース・オペラで音楽監督をつとめた。13年は、パルマのテアトロ・レッジョ『仮面舞踏会』(1~3月)、バイエルン州立歌劇場『マクベス』(5月)、ブエノスアイレスのコロン劇場『オテロ』(7月)、ベルリン州立歌劇場『仮面舞踏会』(9~10月)、シカゴ・リリック・オペラ『椿姫』(11~12月)などを指揮。今後の予定には、サンディエゴ歌劇場『仮面舞踏会』『トスカ』、ワイマールのドイツ国民劇場『ラ・ボエーム』などがある。新国立劇場初登場。



演出:エミリオ・サージ

Production: Emilio Sagi

スペイン・オヴィエド大学で哲学と文学を学んだ後、ロンドンで音楽学を学び、いずれも博士号を獲得。1980年故郷オヴィエド市での『椿姫』で演出家デビュー。90~99年サルスエラ劇場総監督、2002~05年マドリッドのレアル劇場芸術監督を歴任。これまでに『リゴレット』「魔笛』「トリスタンとイゾルデ』などを手がけている。新国立劇場では06、07年『運命の力』を演出。



レオノーラ: イアーノ・タマー

Donna Leonora: Iano Tamar

グルジア生まれ。トビリシの音楽院でピアノ、音楽学、声楽を学ぶ。1992年にペーザロのロッシーニ・オペラ・フェスティバルとチューリヒ歌劇場において『セミラーミデ』でオペラ・デビュー。93年にはリッカルド・ムーティ指揮との共演で『ファルスタッフ』アリーチェでミラノ・スカラ座にデビュー。以来、ウィーン国立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ハンブルク州立歌劇場、英国ロイヤルオペラ、ジュネーヴ歌劇場、フェニーチェ歌劇場など欧州の名だたる歌劇場に出演している。最近では、アントワープのフランダース・オペラ『ナブッコ』アビガイッレ(13年2月)、バルセロナのリセウ劇場『ルチオ・ジッラ』(同6~7月)などに出演。2014年は、チューリッヒ歌劇場『アイーダ』アムネリスなどに出演予定。新国立劇場では09年『トスカ』タイトルロール以来2度目の出演となる。



主要キャスト・スタッフプロフィール

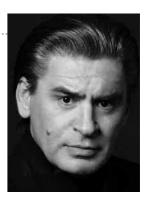
運命の力

Giuseppe Verdi / La Forza del Destino

ドン・アルヴァーロ: ゾラン・トドロヴィッチ

Don Alvaro : Zoran Todorovich

ユーゴスラビア・ベオグラード生まれ。これまでにウィーン国立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン州立歌劇場、ザクセン州立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、英国ロイヤルオペラ、ベルギー王立モネ劇場、ブレゲンツ音楽祭、サンフランシスコ・オペラなど各地の歌劇場で活躍。『ドン・カルロ』『オテロ』タイトルロール、『リゴレット』マントヴァ公爵、『椿姫』アルフレード、『運命のカ』ドン・アルヴァーロ、『蝶々夫人』ピンカートン、『トスカ』カヴァラドッシ、『トゥーランドット』カラフ、『カルメン』ドン・ホセ、『エウゲニ・オネーギン』レンスキーなどを主なレパートリーとする。最近では、ライン・ドイツ・オペラ『トスカ』などに出演。今後の予定には、ライン・ドイツ・オペラ『トスカ』、『道化師』カニオなどがある。新国立劇場では2000年『エウゲニ・オネーギン』、01、11年『蝶々夫人』、07年『カルメン』、10年『ニューイヤーオペラパレスガラ』に出演している。



ドン・カルロ:マルコ・ディ・フェリーチェ

Don Carlo : Marco di Felice

イタリア・テーラモ生まれ。ボローニャにて声楽を学びはじめ、アカデミア・ロッシニアーナ、及びモンテグリドルフォのアカデミア・コースで研鑚を積む。モデナ歌劇場『愛の妙薬』ベルコーレでオペラデビュー。ロッシーニ、モーツァルトのほか、ドニゼッティ、ヴェルディ、ヴェリズモ・オペラなど幅広いレパートリーを持ち、ミラノ・スカラ座、ボローニャ歌劇場、ナボリのサン・カルロ歌劇場などイタリアの歌劇場を中心に、ウィーン国立歌劇場、バルセロナのリセウ劇場、ライブソィヒ歌劇場、メトロポリタン歌劇場など世界の主要歌劇場で出演を重ねている。最近では、トリノ王立歌劇場『椿姫』、マルセイユ歌劇場『アイーダ』、ケルン歌劇場『リゴレット』などに出演。今後の予定には、マルセイユ歌劇場『ラ・ジョコンダ』、ウィーン国立歌劇場『アンドレア・シェニエ』などがある。新国立劇場には1999年12月『蝶々夫人』シャープレス以来の出演となる。



プレツィオジッラ: ケテワン・ケモクリーゼ

Preziosilla : Ketevan Kemoklidze

グルジアのトビリシ生まれ。トビリシ国立音楽院とスカラ座アカデミアで学ぶ。プラシド・ドミンゴ世界オペラコンクールを含む様々なコンクールでの受賞歴を持つ。2002年、トビリシで『リゴレット』マッダレーナでオペラデビュー。その後、ミラノ・スカラ座、英国ロイヤルオペラ、ベルリン・ドイツ・オペラ、バルセロナのリセウ劇場、マドリッドのレアル劇場、ワシントン・オペラなど各地の主要歌劇場で活躍。現在最も注目を集める若手歌手の1人で、確かな歌唱力に加え美しい容姿と演技力を併せ持った実力派。最近では、ロサンゼルス・オペラ『チェネレントラ』、サンティアゴ・テアトロ・ムニシパル『セビリアの理髪師』ロジーナ、ミラノ・スカラ座日本公演『リゴレット』マッダレーナ、ワシントン・オペラ『運命のカ』プレツィオジッラなどに出演している。今後の予定には、ナポリのサン・カルロ歌劇場『エウゲニ・オネーギン』、トリノ王立歌劇場『運命のカ』などがある。新国立劇場には14年1月『カルメン』タイトルロールに続いての出演となる。



| 42 | OPERA | 運命の力 | 43 |

運命の力

Giuseppe Verdi / La Forza del Destino

グァルディアーノ神父:松位 浩

Padre Guardiano: Matsui Hiroshi

大阪音楽大学、同大学院修了。ベルリン芸術大学に学ぶ。1996年よりザールラント州立劇場ザールブリュッケン首席バス歌手。2002年ザルツブルク祝祭劇場『トリスタンとイゾルデ』マルケ王で国内外のメディアから非常に高い評価を得る。『ドン・カルロ』フィリッポ二世、『ラ・ボエーム』コッリーネ、『パルジファル』グルネマンツ、『エウゲニ・オネーギン』グレーミン公など今まで歌い演じた役の数は 100を超える。10年びわ湖ホール『トリスタンとイゾルデ』マルケ王では存在感のある歌唱で好評を博した。新国立劇場には『さまよえるオランダ人』ダーラント、『魔笛』ザラストロ、『オテロ』ロドヴィーコ、『フィガロの結婚』バルトロに出演。



フラ・メリトーネ:マルコ・カマストラ

Fra Melitone : Marco Camastra

1987年サン・レモ歌劇場『蝶々夫人』シャープレス及び『愛の妙薬』ベルコーレでオペラ・デビュー。これまでに、ミラノ・スカラ座、ナポリのサン・カルロ歌劇場、ヴェローナ野外劇場、トリノ王立歌劇場などイタリア各地の劇場に出演。『ドン・ジョヴァンニ』レポレッロ、『マノン・レスコー』レスコー、『ラ・ボエーム』ショナール、『カルメン』ダンカイロ、『チェネレントラ』ドン・マニフィコなどをレパートリーとする。最近では、ヴェローナ野外劇場『リゴレット』マルッロ、スロヴァキア国立劇場『セビリアの理髪師』バルトロ、フィレンツェ・テアトロ・コムナーレ『愛の妙薬』ドゥルカマーラなどに出演。今後の予定には、ニュー・イスラエル・オペラ『ドン・パスクワーレ』タイトルロール(ロールデビュー)、トリノ王立歌劇場『トスカ』堂守、『ジャンニ・スキッキ』マルコなどがある。新国立劇場初登場。

カラトラーヴァ公爵:久保田真澄

Il Marchese di Calatrava : Kubota Masumi

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。1993年第62回日本音楽コンクール声楽部門第3位。96年リッカルド・ザンドナーイ国際コンクール及び第2回フェルッチョ・タリアヴィーニ国際コンクールに入選。ミラノで『蝶々夫人』「椿姫』「アイーダ』「ラ・ボエーム』などに出演。藤原歌劇団では『愛の妙薬』「椿姫』「マクベス」などで活躍。新国立劇場では『アイーダ』「リゴレット』「トゥーランドット」「ドン・ジョヴァンニ」 『セビリアの理髪師」 『ウェルテル』 『ルチア』 『ラ・ボエーム』「オテロ』、高校生のためのオペラ鑑賞教室 『ラ・ボエーム』 「愛の妙薬』、こどものためのオペラ劇場 「パルジファルとふしぎな聖杯」など数多く出演している。藤原歌劇団団員。



OPERA | 運命の力

 $2015.5/10 \sim 26$

新制作 New production

La Traviata

オペラパレス | 6回公演 | 全3幕〈イタリア語上演/字幕付〉

初演: 1853年3月6日/フェニーチェ歌劇場(ヴェネツィア)

作曲:ジュゼッペ・ヴェルディ

原作:アレクサンドル・デュマ・フィス「椿姫」 台本: フランチェスコ・マリア・ピアーヴェ

プロダクションについて

2014/2015シーズンの新制作三作目は、ヴェルディ中期の傑作『椿姫』。 華やかなパリ社交界を舞台に、高級娼婦 ヴィオレッタの純愛と哀しい運命を描いた、世界中のオペラハウスで上演されるレパートリーの一つです。

演出は、フランス出身のヴァンサン・ブサール。バロック・オペラから現代オペラまで、これまでの演出作品は 多岐に渡り、色彩にこだわる洗練された舞台作りには定評があります。ヴィオレッタを歌うのは、クロアチア出身 のラナ・コス、アルフレード役はイタリアの新星アントニオ・ポーリ、ジェルモンはベルリン州立歌劇場で活躍す るアルフレード・ダザと、魅力的な若手キャストが揃います。指揮はイヴ・アベル。2011年『蝶々夫人』、13年『コ ジ・ファン・トゥッテ』に続き、3度目の新国立劇場登場です。

あらすじ

【第1幕】パリの社交界の華である高級娼婦ヴィオレッタは、肺の病で先が長くないことを悟り、刹那的に生きて いる。今夜も自宅のサロンでパーティを開催。ガストン子爵が、彼女を崇拝しているという青年アルフレードを連 れてくる。彼は「1年前にあなたを見て以来ずっと恋している」とまっすぐな眼差しでヴィオレッタに告白するの だった。パーティ後、ひとりになったヴィオレッタは、今まで経験したことのない、心からの愛の告白が忘れられ ず心ときめくが、たかが愛のために今まで築いた地位は捨てられない、と我に返る。

【第2幕】アルフレードとの愛を選んだヴィオレッタは、パリ郊外の田舎で彼と静かに暮らしている。しかし生活 費のため全財産をパリで競売にかけようとしていた。それを知ったアルフレードは競売を止めさせようとパリへ 向かう。すれ違いでヴィオレッタが帰宅すると、家にはアルフレードの父ジェルモンが。アルフレードと別れて ほしい、でないと彼の妹が結婚できない……とジェルモンは彼女に頼む。今は彼との愛だけが生きる希望である ヴィオレッタは最初拒むものの承諾し、別れの手紙を書いて家を出る。事情を知らないアルフレードは手紙の内 容に愕然とし、父が「一緒に故郷に戻ろう」と慰めても聴く耳をもたない。 別れに納得できないアルフレードは怒 りが収まらず、夜会の大勢の客の前で彼女を罵倒する。ヴィオレッタは、ショックのあまり気絶してしまう。

【第3幕】1ヵ月後。病が進行し、死の床に伏しているヴィオレッタ。そこに、父ジェルモンからすべての事情を聞 いたアルフレードが来て、彼女に許しを乞い、パリを離れて一緒に暮らそうと語る。ジェルモンも到着。愛する人 たちに囲まれたヴィオレッタは、一瞬苦しみが消え、最高に幸せな面持ちを見せたのち、息絶えるのだった。

New production 新制作 New production

ジュゼッペ・ヴェルディ

Giuseppe Verdi / La Traviata

全3幕〈イタリア語上演/字幕付〉

指 揮………イヴ・アベル

Conductor Yves Abel

演 出…………ヴァンサン・ブサール Production Vincent Boussard

装 置………… ヴァンサン・ルメール Set Design Vincent Lemaire

Costume Design

昭 明………未定 Lighting Design

ヴィオレッタ ………… ラナ・コス

Violetta Valéry Lana Kos

アルフレード・・・・・・・・・・・・・・・・・ポーリ Alfredo Germont Antonio Poli

ジェルモン ………… アルフレード・ダザ

Alfredo Daza Giorgio Germont

フローラ ……………… 山下牧子

Yamashita Makiko Flora Bervoix

ガストン子爵 ……………… 小原啓楼 Visconte Gastone Ohara Keiroh

ドゥフォール男爵 ………… 須藤慎吾

Barone Douphol Sudo Shingo

ドビニー侯爵 ………… 北川辰彦 Marchese D'Obigny Kitagawa Tatsuhiko

医師グランヴィル ……… 鹿野由之

Shikano Yoshiyuki Dottor Grenvil

アンニーナ ……… 与田朝子 Annina Yoda Asako

新国立劇場合唱団

New National Theatre Chorus Chorus

管弦楽…………東京フィルハーモニー交響楽団 Tokyo Philharmonic Orchestra Orchestra

2015年5月10日(日) 2:00 19日(火) 7:00 13日(水) 2:00 23日(土) 2:00

16日(土) 2:00 26日(火) 2:00

オペラパレス

【チケット料金】

S:27,000円·A:21,600円·B:15,120円·C:8,640円·D:5,400円

【前売開始】2014年12月13日(土)

46 OPERA | 椿姫

椿姫

Giuseppe Verdi / La Traviata

指揮: イヴ・アベル

Conductor: Yves Abel

カナダ・トロント出身。ウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、バイエルン州立歌劇場、英国ロイヤルオペラ、パリ・オペラ座、メトロポリタン歌劇場、グラインドボーン音楽祭、ロッシーニ・オペラ・フェスティバルなど世界各地で指揮。『フィガロの結婚』「ドン・ジョヴァンニ」『コジ・ファン・トゥッテ』『セビリアの理髪師』『チェネレントラ』「愛の妙薬』『連隊の娘』『カルメン』「ドン・カルロ』『椿姫』『蝶々夫人』『ウェルテル』『カルメル派修道女との対話』など幅広いレパートリーを誇る。2005~11年ベルリン・ドイツ・オペラ首席客演指揮者を務めた。最近の活躍としては、サンディエゴ・オペラ『連隊の娘』、メトロポリタン歌劇場『セビリアの理髪師』「連隊の娘』「蝶々夫人」などがある。今後の予定には、メトロポリタン歌劇場『ホフマン物語』、英国ロイヤルオペラ『連隊の娘』「椿姫』、パリ・オペラ座「ヘンゼルとグレーテル」などがある。録音も数多く、最近では12年にエリナ・ガランチャとCD『ロマンティック』をリリースした。新国立劇場には11年『蝶々夫人』、13年6月『コジ・ファン・トゥッテ』に続き3度目の登場。



演出:ヴァンサン・ブサール

Production : Vincent Boussard



1999年コメディ・フランセーズにてオペラ演出家デビュー。これまでに、ベルリン州立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、フランクフルト州立歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、アン・デア・ウィーン劇場、ストックホルム王立歌劇場、ベルギー王立モネ劇場、サンフランシスコ・オペラ、エクサンプロヴァンス音楽祭、インスブルック音楽祭など各地の歌劇場や音楽祭に登場。演出作品には、パーセル『ディドとエネアス』、ヘンデル『テオドーラ』、M.A.シャルバンティエ『オルフェウスの冥府下り』、カヴァッリ『エリオガバロ』などのバロック・オペラ、メノッティ『マリア・ゴロヴィン』、ブノワ・メルニエ『春の目覚め』などの現代オペラのほか、『偽の女庭師』『カプレーティ家とモンテッキ家』『カルメン』「蝶々夫人』『サロメ』『アドリアーナ・ルクヴルール』『キャンディード』など多岐に渡る。最近では、フランクフルト州立歌劇場でグルック『エツィオ』を演出。今後の予定には、トゥールーズ歌劇場『ラ・ファヴォリータ』、ベルリン州立歌劇場『マハゴニー市の興亡』などがある。幾つかのプロダクションはテレビ放映や DVD 化され、『春の目覚め』はディアパソン・ドール賞を受賞している。新国立劇場初登場。

ヴィオレッタ: ラナ・コス

Violetta Valéry : Lana Kos

クロアチア・ヴァラジュディン生まれ。クロアチア国立劇場 「魔笛」 夜の女王役でオペラデビュー。これまでに、バイエルン州立歌劇場、パレルモのテアトロ・マッシモ、ボリショイ劇場、メルビッシュ湖上音楽祭など各地で 「ラ・ボエーム」 ミミ、 「マノン・レスコー」 タイトルロール、 「ヘンゼルとグレーテル」 グレーテル、 「ルチア」 タイトルロール、 「カルメン』 ミカエラなどを歌っている。特に 「椿姫」 ヴィオレッタは 2009 年スロヴェニアのマリボール国立歌劇場でロールデビュー以来得意役としており、10年同役でヴェローナ野外音楽祭にデビュー、好評を博した。13年は、中国国家大劇院 「オテロ」 デズデーモナ (ロールデビュー)、ニュー・イスラエル・オペラ及びヴェローナ野外音楽祭 「椿姫」 などに出演。14年は中国国家大劇院 「オテロ」 及び 「道化師」 ネッダなどに出演予定。新国立劇場初登場。



主要キャスト・スタッフプロフィール

椿姫

Giuseppe Verdi / La Traviata

アルフレード: アントニオ・ポーリ

Alfredo Germont : Antonio Poli

イタリア・ヴィテルボ生まれ。ローマで研鑚を積む。2010年ハンス・ガボール・ベルヴェデーレ国際声楽コンクール第1位ほか、数々の国際コンクールで入賞歴を持つ注目のイタリア人若手テノールの一人。13年は、ハンブルク州立歌劇場『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ、グラーツ歌劇場、ベルリン州立歌劇場及びマドリッドのレアル劇場『愛の妙薬』ネモリーノ、ミラノ・スカラ座、スカラ座日本公演及びグラインドボーン音楽祭『ファルスタッフ』フェントン、シカゴ・リリック・オペラ『オテロ』カッシオなどに出演。今後の予定には、英国ロイヤルオペラ及びシカゴ・リリック・オペラ『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ(14年)、バイエルン州立歌劇場『ファルスタッフ』フェントン(15年)などがある。14年5月ローマ歌劇場日本公演『ナブッコ』イズマエーレ役で来日予定。新国立劇場初登場。



ジェルモン: アルフレード・ダザ

Giorgio Germont : Alfredo Daza



メキシコ生まれ。メキシコ国立音楽院で研鑽を積み、1998年サンフランシスコ・オペラ若手芸術家プログラム (アドラー・フェローシップ)のメンバーとなり、ミシガン・オペラ『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ及びカナディアン・オペラ・カンパニー『ラ・ボエーム』ショナールでオペラデビュー。これまでに、ベルリン州立歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、ローマ歌劇場、ワシントン・オペラ、ロサンゼルス・オペラ、グラインドボーン音楽祭など各地で、『チェネレントラ』ダンディーニ、『ラ・ボエーム』マルチェッロ/ショナール、『セビリアの理髪師』フィガロ、『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵、『ファルスタッフ』フォード、『愛の妙薬』ベルコーレなどを歌っている。現在ベルリン・ドイツ・オペラのアンサンブル・メンバーとして、『椿姫』ジェルモン、『蝶々夫人』シャープレス、『ラ・ボエーム』マルチェッロ、『仮面舞踏会』レナート、『ドン・カルロ』ロドリーゴなど主要な役で出演を重ねている。新国立劇場初登場。

フローラ:山下牧子

Flora Bervoix : Yamashita Makiko

広島大学教育学部卒業、東京藝術大学大学院声楽専攻修了。第1回東京音楽コンクール第1位。これまでに「ジュリアス・シーザー」タイトルロール、「コジ・ファン・トゥッテ」ドラベッラ、「フィガロの結婚」ケルビーノ、「カルメン」タイトルロールなどを演じている。新国立劇場では、「カヴァレリア・ルスティカーナ」「ルル」「サロメ」「軍人たち」「リゴレット」「蝶々夫人」「ワルキューレ」「ヴォツェック」「カルメン」「沈黙」「ホフマン物語」など数多く出演。2013/2014シーズンは「リゴレット」マッダレーナ、「ホフマン物語」アントニアの母/ステッラに出演したほか、「死の都」ブリギッタ、「ヴォツェック」マルグレート、「鹿鳴館」女中頭草乃にも出演予定。二期会会員。



| 48 | OPERA | **椿姫** | 49 |

 $2015.5/24 \sim 6/4$

ばらの騎士

レパートリー Repertoire

Der Rosenkavalier

オペラパレス | 5回公演 | 全3幕〈ドイツ語上演/字幕付〉

初演:1911年1月26日/ドレスデン宮廷歌劇場

作曲:リヒャルト・シュトラウス

台本:フーゴー・フォン・ホフマンスタール

プロダクションについて

ウィーン上流社会を舞台に、過ぎゆく時への思いや、若い新しい愛を、優美かつ豊麗な音楽で描いた傑作。細やかな人物描写に優れたジョナサン・ミラーの演出は、時代を18世紀から世界初演の1年後の1912年に移し、当時の聴衆が感じていた「時代の移ろい」をも作品から引き出しています。

元帥夫人役は R.シュトラウスでは定評のあるアンネ・シュヴァーネヴィルムス。オックス男爵役は、ライプツィヒ歌劇場でも同役を歌っているユルゲン・リン。他にもウィーンで活躍する歌手たちが出演します。指揮は、エッセン歌劇場音楽監督を昨年まで 16年間つとめたシュテファン・ショルテス。彼の功績により、エッセン歌劇場は、ドイツのオペラ専門誌『Opernwelt』で 2007/08シーズンの「最優秀歌劇場」に選ばれています。





2011年公演より

あらすじ

【第1幕】陸軍元帥夫人マリー・テレーズは、夫が不在の館で、若い恋人オクタヴィアンと甘いまどろみのなか朝を迎える。そこに元帥夫人の従兄オックス男爵がやってくる。新興貴族ファーニナルの娘ゾフィーと婚約するというオックスは、婚約者に銀のばらを贈る儀式の使者"ばらの騎士"を誰にしたらいいか相談しに来たのだ。逢瀬の現場を見られてはまずいと大慌ての2人だが、もう逃げられず、オクタヴィアンはかわいらしい小間使いマリアンデルに変装。女たらしのオックスは元帥夫人に相談しながらも小間使いが気になる様子。元帥夫人はオクタヴィアンを"ばらの騎士"に推薦する。その後、元帥夫人はひとり思いにふけり、年齢を重ねることの無常を思う。【第2幕】"ばらの騎士"としてゾフィーに銀のばらを届けに来たオクタヴィアンは、一目で彼女と恋に落ちてしまう。オックス男爵が現れるが、彼のあまりにも無作法な態度にゾフィーは結婚を嫌がり、オクタヴィアンは婚約を取り消すようオックスに申し出る。しかしオックスが相手にしないため、オクタヴィアンは剣を抜く。オックスも剣を手に取るが、すぐにオクタヴィアンの剣の先が腕に当たる。負った傷はほんのかすり傷だが、オックスは泣きわめいて大騒ぎ。そこにマリアンデルから逢引の誘いの手紙が来て、オックスはすっかりご機嫌に。

【第3幕】逢引の場の安宿の一室には、オックスを懲らしめるための罠を仕込み、オクタヴィアンはマリアンデルに変装して準備万端。何も知らないオックスは浮足立ってやってきて"彼女"を口説こうとするが、いい雰囲気になろうというとき、幽霊が現れ、「彼の子」と称する子を連れた女や、警官が来て大騒動。すっかり追い詰められたオックスは婚約を破談にすることを了承する。そして元帥夫人は身を引き、オクタヴィアンとゾフィーを祝福する。

Repertoire レパートリー Repertoire

リヒャルト・シュトラウス

ばらの騎士

Richard Strauss / Der Rosenkavalier

全3幕〈ドイツ語上演/字幕付〉

シュテファン・ショルテス Conductor Stefan Soltesz 演 出…… ジョナサン・ミラー Production Jonathan Miller 美術 · 衣裳 · イザベラ・バイウォーター Scenery and Costume Design Isabella Bywater 磯野 睦 Lighting Design Isono Mutsumi アンネ・シュヴァーネヴィルムス Die Feldmarschallin Anne Schwanewilms ユルゲン・リン オックス男爵 …………… Der Baron Ochs auf Lerchenau Jürgen Linn ステファニー・ハウツィール Octavian Stephanie Houtzeel クレメンス・ウンターライナー ファーニナル …… Herr von Faninal Clemens Unterreiner ゾフィー ダニエラ・ファリー Daniela Fally Sophie マリアンネ 田中三佐代 Marianne Tanaka Misayo ヴァルツァッキ 高橋 淳 Valzacchi Takahashi Jun 加納悦子 アンニーナ Kanoh Etsuko Annina 警部…… 妻屋秀和 Ein Polizeikommissar Tsumaya Hidekazu 元帥夫人の執事……… 大野光彦 Der Haushofmeister bei der Feldmarschallin Ono Mitsuhiko ファーニナル家の執事 …… 村上公太 Der Haushofmeister bei Faninal Murakami Kota 晴 雅彦 Ein Notar Hare Masahiko 料理屋の主人 加茂下 稔 Ein Wirt Kamoshita Minoru テノール歌手 水口 聡 Ein Sänger Mizuguchi Satoshi 帽子屋…… 佐藤路子 Eine Modistin Sato Michiko 十崎 譲 Ein Tierhändler Tsuchizaki Joe 新国立劇場合唱団 New National Theatre Chorus Chorus 管弦楽· 東京フィルハーモニー交響楽団 Tokyo Philharmonic Orchestra Orchestra 2015年5月24日(日) 2:00 6月2日(火) 2:00 27日(水) 6:00 4日(木) 2:00 30日(土) 2:00 オペラパレス

【前売開始】2015年1月24日(土)

【チケット料金】 S:23,760円・A:19,440円・B:12,960円・C:7,560円・D:4,320円

opera | ばらの騎士 | 51

ばらの騎士

Richard Strauss / Der Rosenkavalier

指揮:シュテファン・ショルテス

Conductor: Stefan Soltesz

ハンガリー生まれ。ウィーン音楽院のハンス・スワロフスキー教授のもとで研鑚を積む。 1971 ~73年アン・デア・ウィーン劇場指揮者。73~83年ウィーン国立歌劇場指揮者兼コーチ。79~81年グラーツ歌劇場客演指揮者。78、79、83年のザルツブルク音楽祭では、カール・ベーム、クリストフ・フォン・ドホナーニ、ヘルベルト・フォン・カラヤンのアシスタントを務める。83~85年ハンブルク州立歌劇場常任指揮者、85~97年ベルリン・ドイツ・オペラ常任指揮者、88~93年ブラウンシュヴァイク州立歌劇場音楽監督、92~97年アントワープのフランダース・オペラ音楽監督を歴任。97~2013年エッセン歌劇場芸術監督、及びエッセン・フィル音楽総監督。この間、歌劇場とオーケストラの評価を飛躍的に高め、ドイツのオペラ専門誌『Opernwelt』の「2007/08シーズンの成果」アンケートでは、「最優秀オペラ劇場」に輝いている。新国立劇場初登場。



演出:ジョナサン・ミラー

Production: Jonathan Miller

ロンドン生まれ。医学博士、作家、TVプロデューサー、演劇・オペラ・映画の演出など幅広い分野で国際的に活躍。演劇演出家として、ロイヤル・シェイクスピア・カンパニーの『ヴェニスの商人』『じゃじゃ馬馴らし』や、1988年から90年まで芸術監督を務めたオールドヴィック劇場での『リア王』、80年からBBCが制作したシェイクスピアシリーズなど、シェイクスピア作品の演出で高い評価を得る。オペラ演出は74年のアレクサンダー・ゲアーの『Aeden Must Die』イギリス初演に始まり、その後もイングリッシュ・ナショナル・オペラなどで活躍、『ミカド』『リゴレット』『ねじの回転』『ばらの騎士』『カルメン』などで大成功を収める。また、ミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場、ベルリン州立歌劇場、ウィーン国立歌劇場、英国ロイヤルオペラ、ザルツブルク音楽祭など世界各地で活躍している。新国立劇場では『ファルスタッフ』『ばらの騎士』を演出。



元帥夫人: アンネ・シュヴァーネヴィルムス

Die Feldmarschallin: Anne Schwanewilms

ドイツ出身。R.シュトラウスやワーグナーの作品を特に得意とするほか、ドイツ・オペラ、イタリア・オペラ、フランス・オペラから現代作品までレパートリーは幅広い。これまでに、ウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、英国ロイヤルオペラ、シカゴ・リリック・オペラ、ザルツブルク音楽祭など名だたる歌劇場や音楽祭に出演している。最近では、ミュンヘン・オペラ・フェスティバル『タンホイザー』エリーザベト、ウィーン国立歌劇場『ばらの騎士』元帥夫人、メトロポリタン歌劇場『影のない女』皇后などに出演。今後の予定には、ザクセン州立歌劇場『エレクトラ』クリソテミス、マドリッドのレアル劇場『ローエングリン』エルザ、ケルン歌劇場『オテロ』デズデーモナなどがある。2002年ドイツのオペラ専門誌『Opernwelt』で最優秀歌手に選ばれている。新国立劇場初登場。



主要キャスト・スタッフプロフィール

ばらの騎士

Richard Strauss / Der Rosenkavalier

オックス男爵: ユルゲン・リン

Der Baron Ochs auf Lerchenau: Jürgen Linn

ドイツ生まれ。マンハイム音楽大学で学んだ後、カイザースラウテルンとニュルンベルク 州立歌劇場のメンバーとして活躍。ストラスブール、ボローニャ、パレルモ、ローマ、ヴェローナ、ミラノなどで国際的なキャリアを積む。『さまよえるオランダ人』タイトルロール、『トリスタンとイゾルデ』クルヴェナール、『ニュルンベルクのマイスタージンガー』ハンス・ザックス、『ニーベルングの指環』ヴォータン/アルベルヒ/さすらい人/グンター、『パルジファル』アムフォルタスといったワーグナーのレパートリーのほか、『ばらの騎士』オックス男爵、『サロメ』ヨハナーン、『ヴォツェック』タイトルロールなども歌っている。オックス男爵役は2010年バーデン州立歌劇場カールスルーエでロールデビュー後、翌年ライプツィヒ歌劇場でも歌っており、14年2~6月も同劇場に同役で出演予定。新国立劇場では09年『ラインの黄金』アルベリヒ、10年『ジークフリート』アルベリヒに出演。



オクタヴィアン: ステファニー・ハウツィール

Octavian : Stephanie Houtzeel

ドイツ・カッセルに生まれ、ボストン近郊で育つ。2005年『ばらの騎士』オクタヴィアンでウィーン国立歌劇場、パリ・オペラ座、ニュー・イスラエル・オペラ及びグラーツ歌劇場に出演し、『OPERA NEWS』誌に「歌唱力、演技力、容姿ともに最高の出来映え」と称賛された。ほかにも、『ナクソス島のアリアドネ』作曲家、『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ、『皇帝ティートの慈悲』セスト、『イドメネオ』イダマンテ、『ホフマン物語』ニクラウス/ミューズ、『こうもり』オルロフスキー公爵、『ポッペアの戴冠』オッターヴィアなどをレパートリーとし、ウィーン国立歌劇場、ザクセン州立歌劇場、リヨン国立歌劇場、グラーツ歌劇場などに出演している。13年には『ファルスタッフ』ページ夫人メグでザルツブルク音楽祭にデビューを飾った。14年はウィーン国立歌劇場『ホフマン物語』などに出演を予定。新国立劇場初登場。



ファーニナル: クレメンス・ウンターライナー

Herr von Faninal : Clemens Unterreiner

ウィーン出身。2000年、バイロイト音楽祭の奨学金を獲得。02年ハンス・ガボール・ベルヴェデーレ国際声楽コンクールのセミファイナリスト。ウィーン祝祭週間で歌手活動を始める。05年よりウィーン国立歌劇場のソロ及びアンサンブル・メンバーとして、『蝶々夫人』シャープレス、『ばらの騎士』ファーニナル、『トスカ』アンジェロッティ、『ラ・ボエーム』ショナールなどを歌っている。また、ウィーン・フォルクスオーパーにも『蝶々夫人』シャープレス、『こうもり』ファルケ博士、『魔笛』パパゲーノなどで客演するほか、デンマーク王立歌劇場、ザルツブルク音楽祭、ブダペスト音楽祭などにも出演している。13年はガルミッシュ・パルテンキルヒェンのR.シュトラウス音楽祭『ナクソス島のアリアドネ』ハルレキン、ウィーン国立歌劇場『こうもり』ファルケ博士などに出演。今後の予定には、ウィーン国立歌劇場『ナクソス島のアリアドネ』音楽教師などがある。新国立劇場初登場。



OPERA | ばらの騎士 | 53

ばらの騎士

Richard Strauss / Der Rosenkavalier

ゾフィー: ダニエラ・ファリー

Sophie: Daniela Fally

オーストリア出身。ウィーン国立音楽大学を優秀な成績で卒業。ウィーン・フォルクスオーパーのアンサンブル・メンバーを経て、2009/2010シーズンよりウィーン国立歌劇場と専属契約を結び、『ナクソス島のアリアドネ』ツェルビネッタ、『ばらの騎士』ゾフィー、『セビリアの理髪師』ロジーナ、『アラベッラ』フィアッカミッリ、『こうもり』アデーレなどに出演。ほかにも、ブレゲンツ音楽祭、ライン・ドイツ・オペラ、バイエルン州立歌劇場、チューリッヒ歌劇場、ザクセン州立歌劇場、ハンブルク州立歌劇場など多くの歌劇場に出演している。最近では、ウィーン国立歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、バイエルン州立歌劇場で『ナクソス島のアリアドネ』、ザクセン州立歌劇場『ばらの騎士』などに出演。今後の予定には、パリ・オペラ座『ナクソス島のアリアドネ』、ブレゲンツ音楽祭『魔笛』夜の女王などがある。新国立劇場初登場。





ヴァルツァッキ: 高橋 淳

Valzacchi: Takahashi Jun

東京音楽大学卒業、同大学大学院修了。1995年ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院夏期アカデミー修了。二期会公演のほか、びわ湖ホール、日生劇場など多くの公演で活躍。新国立劇場では『ホフマン物語』アンドレ/コシュニーユ/フランツ/ピティキナッチョ、『タンホイザー』ハインリヒ、『軍人たち』若い伯爵、『ラインの黄金』ミーメ、『ムツェンスク郡のマクベス夫人』ボロ服の男、『魔笛』モノスタトス、『アンドレア・シェニエ』密偵、『ばらの騎士』ヴァルツァッキ、高校生のためのオペラ鑑賞教室「蝶々夫人』ゴロー、『夜叉ヶ池』鯉七などに出演、印象的な役作りで評価を得ている。11年二期会『サロメ』(P.コンヴィチュニー演出)ヘロデで好評を博した。2013/2014シーズンは『ホフマン物語』アンドレ/コシュニーユ/フランツ/ピティキナッチョに出演。二期会会員。

アンニーナ:加納悦子

Annina: Kanoh Etsuko

東京藝術大学、同大学大学院を修了後、ケルン音楽大学で声楽を学ぶ。ケルン市立 歌劇場専属歌手として『フィガロの結婚』ケルビーノ、『蝶々夫人』スズキなど 40 以上 の演目に出演。国内では NHK 交響楽団などとの共演や、二期会、 びわ湖ホールオ ペラなどで活躍。最近では 2013年9月びわ湖ホール・神奈川県民ホール共催『ワルキューレ』フリッカを演じた。新国立劇場では『ホフマン物語』ニクラウス/ミューズ、『魔笛』侍女II、『ばらの騎士』アンニーナ、『ルサルカ』料理人の少年、『ピーター・グライムズ』セドリー夫人などに出演している。2013年10月文化庁芸術祭オープニング公演でエルガー「海の絵」を独唱し、高い評価を得た。同年4月に CD「メアリ・スチュアートの詩」(ALM RECORDS) をリリース。二期会会員。



OPERA | ばらの騎士

 $2015.6/27 \sim 30$

沈黙

レパートリー Repertoire

Silence

オペラパレス | 4回公演 | 全2幕〈日本語上演/字幕付〉

初 演:1993年11月4日/日生劇場(東京)

作曲・台本: 松村禎三 原 作: 遠藤周作「沈黙」

プロダクションについて

20世紀を代表する日本人作曲家のひとり、松村禎三 (1929-2007) 唯一のオペラ作品です。神の存在と信仰の意義を問う遠藤周作の不朽の名作をもとに、松村が自ら台本を執筆、13年という歳月をかけてオペラ化した力作です。1993年に世界初演、日本オペラ界における新たな傑作の誕生と大きな話題を呼び、新国立劇場でも度々上演されています。宮田慶子演劇芸術監督による演出は、傾いた十字架を乗せた廻り舞台と照明を効果的に使った装置が特徴で、2012年の初演では、指揮の下野竜也をはじめ、ソリスト、合唱団とも高い評価を受けました。

前回は中劇場でしたが、今回はオペラパレスで上演します。指揮は下野竜也が再登場、キャストも日本のオペラ 界の中枢を担う方々が揃いました。





2012年公演より

あらすじ

【第1幕】マカオの教会。ポルトガルの若き宣教師ロドリゴは日本に行こうとしているが、ヴァリニャーノ神父は、日本はキリスト教への弾圧が厳しいので断念するよう促す。しかし日本へ行ったまま消息不明の宣教師フェレイラを探すため、そして日本のキリシタンを救うため、キチジローという日本人の水先案内人と共に旅立つ。

密入国に成功したロドリゴは、長崎のトモギ村で布教を始め、村人たちと祈りを捧げる。信仰心に満たされた幸せな時間もつかの間、役人が村人を捕らえ、踏絵を迫る。モキチら踏絵を拒んだ村人たちは、海に磔にされてしまった。モキチの恋人オハルは嘆き悲しみ、正気を失う。磔にされた村人たちは、祈りを唱えながら海に沈んでいった。キリシタンの置かれた厳しい現実に愕然とし、彼らを救えない無力感にさいなまれるロドリゴ。そのとき、役人たちがやってくる。キチジローが自分の身の安全と引き換えに密告したのだ。ロドリゴは捕らえられる。【第2幕】 牢でロドリゴはフェレイラの消息を聞く。彼はキリスト教を捨て、妻を娶って日本名で暮らしているという。ロドリゴも棄教しなければ捕らえた信者たちを海へ投げ込む、と長崎奉行の井上筑後守は宣告し、言葉通りロドリゴの目の前で信者たちは海へつき落とされる。ロドリゴに棄教を説得するため、牢にフェレイラがやってきた。しかしフェレイラのあまりの変わり様にロドリゴは嫌悪し、彼を追い返す。処刑の前の晩、ロドリゴは十字架に架けられたイエスの思いに自分をなぞらえる。酔った牢番のいびきの音に苛立つが、実は穴吊りにされた信者のうめき声だと知り絶望する。自分のせいで多くの信者が苦しんでいる。しかし神に祈っても何も応えてくれず、沈黙のまま――。引き裂かれる思いのなか、ついにロドリゴは踏絵に足をかけるのだった。

Repertoire VN-FU- Repertoire

^{松村禎三} 沈默

Matsumura Teizo / Silence

全2幕〈日本語上演〉

指 揮	下野竜也	
Conductor	Shimono Tatsuya	
演 出	宮田慶子	
Production	Miyata Keiko	
美 術	池田ともゆき	
	Ikeda Tomoyuki	
衣 裳		
	Handa Etsuko	
照,明		
Lighting Design	Kawaguchi Masahiro	
	〈6月27・29日〉	〈6月28・30日〉
ロドリゴ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	小餅谷哲男	小原啓楼
Rodrigo	Komochiya Tetsuo	
フェレイラ	黒田 博	小森輝彦
Ferreira	Kuroda Hiroshi	Komori Teruhiko
ヴァリニャーノ	成田博之	大沼 徹
Valignano	Narita Hiroyuki	
キチジロー		桝 貴志
Kichijiro	Hoshino Jun	Masu Takashi
E++	吉田浩之	鈴木准
Mokichi	Yoshida Hiroyuki	Suzuki Jun
オハル		石橋栄実
Oharu	Takahashi Nobuko	
おまつ	与田朝子 7.1.4.1	増田弥生 :
Omatsu 少年·······	子田朝丁 Yoda Asako	Masuda Yayoi
少年······· Boy	Щト秋丁 Yamashita Makiko	小林由佳 Kabawashi Vulta
じさま ·······		
Jisama	大久保 眞 Okubo Mak	
老人		
Old Man	Okubo Mits	
チョウキチ		•
Chokichi	Kamoshita l	
井上筑後守	島村武男	三戸大久
Inoue, Lord of Chikugo	Shimamura Takeo	Sannohe Hirohisa
通 辞	吉川健一	町 英和
Interpreter	Yoshikawa Kenichi	Machi Hidekazu
役人・番人		2日程)
Official, Prison Official	Mine Shigel	κi
合 唱	新国立劇場合唱団	
Chorus	New National Theatre	Chorus
管弦楽	東京フィルハーモニー	交響楽団
Orchestra	Tokyo Philharmonic (
2015年6月27日(土) 2・20) 20 E (E) 2:02	
2015年6月27日(土) 2:00		⟨+ ¬⟩
28日(日) 2:00) 30日(火) 1:00() (1)

オペラパレス

【チケット料金】

S:16,200円·A:12,960円·B:8,640円·C:6,480円·D:3,240円 【前売開始】2015年2月21日(土)

56 OPERA | 沈黙

沈黙

Matsumura Teizo / Silence

指揮:下野竜也

Conductor: Shimono Tatsuya

2000年東京国際音楽コンクール優勝と齋藤秀雄賞受賞、01年ブザンソン国際青年指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴び、以降国際的な活動を展開。国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、ミラノ・ヴェルディ響、ストラスブール・フィル、ボルドー管、ロワール管、ウィーン室内管など各国のオーケストラに客演を重ね、09年ローマ・サンタ・チェチーリア管、チェコ・フィル、10年シュトゥットガルト放送響、11年南西ドイツ・フィルにデビュー。10年のサイトウ・キネン・フェスティバル松本では、レジデント・コンダクターとして、子どものための音楽会などを担当したほか、小澤征爾氏に託され、代役としてオーケストラ演奏会を指揮。06~13年3月読売日本交響楽団の初代正指揮者、同4月より首席客演指揮者。07年より上野学園大学教授。11年より広島ウィンドオーケストラ音楽監督。13年芸術選奨文部科学大臣賞受賞。新国立劇場には12年『沈黙』初演に続いての登場。



演出: 宮田慶子

Production : Miyata Keiko

1980年、劇団青年座(文芸部)に入団。翻訳劇、近代古典、ストレートプレイ、ミュージカル、商業演劇、小劇場と多方面にわたる作品を手がける一方、演劇教育や日本各地での演劇振興・交流に積極的に取り組んでいる。これまでに第29回紀伊国屋演劇賞個人賞(『Mother』)、第5回読売演劇大賞優秀演出家賞(『フユヒコ』)、芸術選奨文部大臣新人賞(『ディア・ライアー』)、第43回毎日芸術賞千田是也賞・第9回読売演劇大賞最優秀演出家賞(『赤シャツ』『悔しい女』『サラ』)などを受賞。新国立劇場では上記『ディア・ライアー すてきな嘘つき』のほか、『かくて新年は』『美女で野獣』『屋上庭園』「ヘッダ・ガーブレル』『わが町』『おどくみ』『朱雀家の滅亡』『負傷者16人』『るつば』『ピグマリオン』、オペラ『沈黙』を演出。10年9月より新国立劇場演劇芸術監督。



Rodrigo: Komochiya Tetsuo

大阪音楽大学卒業、同大学大学院オペラ研究室修了。第25回イタリア声楽コンコルソ・テノール特賞。ミラノ・国立ヴェルディ音楽院で研鑚を積む。これまでに『愛の妙薬』ネモリーノ、『アイーダ』ラダメス、『トスカ』カヴァラドッシ、『フィデリオ』フロレスタン、『ナクソス島のアリアドネ』テノール歌手/バッカス、『さまよえるオランダ人』エリックなどに出演。1996年第35回モニュシュコ・フェスティバルに招聘され、ポーランドの国民オペラ『ハルカ』に主役として出演。最近ではザ・カレッジ・オペラハウス『ピーター・グライムズ』タイトルロールに出演。新国立劇場では2005年地域招聘公演『沈黙』ロドリゴに出演し、12年主催公演『沈黙』にも同役で出演。関西二期会会員、関西歌曲研究会会員。大阪音楽大学講師。



主要キャスト・スタッフプロフィール

沈默

Matsumura Teizo / Silence

ロトリゴ:小原啓楼

Rodrigo: Ohara Keiroh

東京藝術大学卒業、同大学大学院修了、博士号取得。第41回日伊声楽コンコルソ第3位ならびに歌曲賞受賞。これまでに『魔笛』タミーノ、『フィガロの結婚』バジリオ、『ナクソス島のアリアドネ』舞踏教師、『こうもり』アルフレード、『オテロ』カッシオ、『蝶々夫人』ピンカートン、『メリー・ウィドウ』カミーユなどに出演。最近では、2013年11月東京二期会日生劇場『リア』に出演。新国立劇場では『鹿鳴館』久雄、『夕鶴』与ひょう、『沈黙』ロドリゴ、『オテロ』カッシオ、高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演『愛の妙薬』ネモリーノ、こどものためのオペラ劇場『スペース・トゥーランドット』キャプテン・レオ、同『ジークフリートの冒険』ジークフリートなどに出演。2013/2014シーズンは『死の都』ガストン/ヴィクトリンに出演を予定。2014/2015シーズンはほかにも『椿姫』ガストン子爵などに出演予定。二期会会員。



フェレイラ: 黒田 博

Ferreira: Kuroda Hiroshi



京都市立芸術大学卒業、東京藝術大学大学院修了。1988年『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロールでオペラデビュー。これまでに『ラ・ボエーム』ショナール、『ニュルンベルグのマイスタージンガー』ハンス・ザックス、『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵、『エウゲニ・オネーギン』タイトルロール、『タンホイザー』ヴォルフラム、『ルル』シェーン博士/切り裂きジャックなどに出演。新国立劇場では『天守物語』姫川図書之助、『こうもり』ファルケ博士、『忠臣蔵』堀部安兵衛、『俊寛』タイトルロール、『愛怨』若草皇子、『黒船 一夜明け』吉田、『軍人たち』マリ大尉、『修善寺物語』面作師夜叉王、『鹿鳴館』影山悠敏伯爵、『夜叉ヶ池』学円などに出演。2013/2014シーズンは『鹿鳴館』影山悠敏伯爵に出演を予定。03年度京都市芸術新人賞受賞。国立音楽大学准教授。二期会会員。

フェレイラ:小森輝彦

Ferreira : Komori Teruhiko

東京藝術大学卒業、同大学大学院修了。文化庁オペラ研修所第9期修了。平成12年度五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。文化庁派遣芸術家在外研修員としてベルリン芸術大学に学んだ後、ドイツのアルテンブルク=ゲラ市立歌劇場専属第一バリトンとして12シーズンにわたって活躍し、『リゴレット』『ドン・ジョヴァンニ』『さまよえるオランダ人』『ナブッコ』タイトルロールなど演じた役は60を超える。日本人として初めてドイツ宮廷歌手の称号を授与され2012年帰国。最近では、13年11月ライマン『リア』(日生劇場・東京二期会共催)、同12月三善晃『遠い帆』(仙台市主催)などに出演。新国立劇場では『サロメ』ヨハナーン、『ナクソス島のアリアドネ』音楽教師、『アラベッラ』マンドリカ、『タンホイザー』ビーテロルフ、小劇場オペラ『オルフェオとエウリディーチェ』オルフェオに出演。二期会会員。



| 58 | OPERA | **沈黙** | 59 |

沈黙

Matsumura Teizo / Silence

キチジロー: 星野 淳

Kichijiro: Hoshino Jun

北海道大学理Iを経て北海道教育大学特設音楽科卒業。二期会オペラスタジオ第34期修了。修了時に優秀賞受賞。これまでに『フィガロの結婚』『ドン・ジョヴァンニ』『コジ・ファン・トゥッテ』『魔笛』『リゴレット』『椿姫』『仮面舞踏会』『運命の力』などの主要な役を演じている。新国立劇場では『光』ミツダ、『セビリアの理髪師』フィオレッロ、『愛怨』玄照皇帝、『道化師』シルヴィオ、『カルメン』モラレス、『黒船一夜明け』吉田、『トリスタンとイゾルデ』メロート、『沈黙』キチジロー、高校生のためのオペラ鑑賞教室『蝶々夫人』シャープレス、コンサート・オペラ『ペレアスとメリザンド』ゴローなど多数出演。2013/2014シーズンは『鹿鳴館』清原永之輔に出演を予定。二期会会員。



キチジロー: 桝 貴志

Kichijiro : Masu Takashi

大阪音楽大学声楽科卒業。新国立劇場オペラ研修所第5期修了。ボローニャ国立音楽院に短期留学。第37回イタリア声楽コンコルソミラノ大賞、第13回松方音楽賞併せて特賞受賞など受賞多数。佐渡裕プロデュースオペラ『魔笛』僧侶、『カルメン』モラレスに出演。2010年東京二期会『メリー・ウィドウ』ではダニロ役で登場し次世代を担うバリトンとして注目を集めた。新国立劇場では地域招聘公演『沈黙』及び主催公演『沈黙』キチジロー、『セビリアの理髪師』フィオレッロ、高校生のためのオペラ鑑賞教室『カルメン』モラレス、同関西公演『夕鶴』運ずに出演。2013/2014シーズン『カルメン』モラレスにも出演予定。二期会会員。



Mokichi : Yoshida Hiroyuki

国立音楽大学卒業、東京藝術大学大学院修了。『こうもり』アルフレードでオペラデビュー。以来数々の公演に出演し、モーツァルト、ヴェルディ、プッチーニからバーンスタインまで多彩な役柄を演じている。ミサ曲やオラトリオなどのソリストとしても活躍。新国立劇場では「魔笛」タミーノ、『オテロ』カッシオ、『サロメ』ナラボート、『道化師』ペッペ、『フィデリオ』ヤキーノ、『ニュルンベルクのマイスタージンガー』ダーヴィッド、『トリスタンとイゾルデ』若い船乗りの声に出演。2000年二期会と共催の『沈黙』でモキチを歌い、今回待望のモキチ役再登場となる。2013/2014シーズンは『道化師』ペッペに出演予定。第25回ジロー・オペラ賞新人賞受賞。東京藝術大学音楽学部声楽家教授。



主要キャスト・スタッフプロフィール

沈黙

Matsumura Teizo / Silence

モキチ: 鈴木 准

Mokichi : Suzuki Jun

東京藝術大学卒業、同大学大学院修士課程修了、博士号取得。松田トシ賞、アカンサス音楽賞、三菱地所賞を受賞。10年度に同大学の特別研究員として渡英。これまでに『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ、『魔笛』タミーノ、一柳慧『愛の白夜』ヨーニスなどに出演したほか、2012年ブリテン『カーリュ・リヴァー』狂女をロンドンとオーフォードで演じ国際的評価を得た。最近では13年7月佐渡裕プロデュースオペラ『セビリアの理髪師』にアルマヴィーヴァ伯爵で出演。新国立劇場では『イル・トロヴァトレ』ルイス、『沈黙』モキチ、『タンホイザー』ハインリヒ、『コジ・ファン・トゥッテ』(演奏会形式)フェルランド、『ドン・ジョヴァンニ』(演奏会形式)ドン・オッターヴィオなどに出演。2013/2014シーズンは『鹿鳴館』久雄に出演予定。二期会会員。



オハル: 高橋薫子

Oharu : Takahashi Nobuko

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。文化庁オペラ研修所第7期修了。第23回 ジロー・オペラ賞新人賞、第26回モービル音楽賞洋楽部門奨励賞受賞など受賞多数。1991~93年五島記念文化財団の奨学生としてミラノに留学。90年藤原歌劇団公演『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナで本格的オペラデビュー。以来『魔弾の射手』エンヒェン、『トゥーランドット』リュー、『愛の妙薬』アディーナなどに出演。新国立劇場では『魔笛』パパゲーナ、『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ、『セビリアの理髪師』ロジーナ、『ヘンゼルとグレーテル』グレーテル、『沈黙』オハル、高校生のためのオペラ鑑賞教室『愛の妙薬』アディーナなどに出演。藤原歌劇団団員。



オハル: 石橋栄実

Oharu : Ishibashi Emi

大阪音楽大学専攻科修了。咲くやこの花賞、大阪舞台芸術奨励賞、音楽クリティック・クラブ奨励賞、坂井時忠音楽賞を受賞。1998年ドイツ・ケムニッツ市立歌劇場『ヘンゼルとグレーテル』にグレーテルで招聘出演。その後、ザ・カレッジ・オペラハウス、兵庫県立芸術文化センター、いずみホール他のオペラ主催公演に数多く出演。新国立劇場では、2005年地域招聘公演『沈黙』、12年『沈黙』、平成25年度高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演『夕鶴』に出演。オハル役で出演したザ・カレッジ・オペラハウス『沈黙』は、03年公演が大阪文化祭グランプリ及び音楽クリティック・クラブ賞を、05年公演が文化庁芸術祭大賞を受賞。平成26年度高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演『夕鶴』にも出演予定。近年ではほかに『ランスへの旅』『欲望という名の電車』などに出演。大阪音楽大学准教授。



OPERA | 沈黙 61

平成26年度公演

〈2演目8公演〉

2014.7 平成26年度

新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室

蝶々夫人

Madama Butterfly | ジャコモ・プッチーニ 6回公演 オペラパレス

2014.11

平成26年度

新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演

夕鶴

Yuzuru | 團伊玖磨

2回公演 尼崎市総合文化センター あましんアルカイックホール

鑑賞教室について

「新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室」は、現代舞台芸術の一層の普及をめざす新国立劇場が、次の世代を担う青少年に優れた本物の芸術を鑑賞する機会として平成10年度より毎年開催しています。高校生に対して、作品を短くしたり解説を差し挟んだりすることなく、一般のお客様と全く同じスタイルで名作オペラを全曲鑑賞していただくという新国立劇場独自のコンセプトは、大変ご好評をいただいております。毎年、来場者の8割以上がオペラ鑑賞初体験、7割が作品のタイトルすら知らないというアンケート結果ですが、舞台の幕が開くとざわついた劇場内はたちまち静まりかえり、ドラマティックなストーリー展開と情熱的な音楽にあふれるオペラを体感しています。平成20年度からは新たに関西公演がスタート、最初の3年は『蝶々夫人』、平成23・24年度は『愛の妙薬』、平成25年度は『夕鶴』を上演しました。

1年間で東京公演、関西公演あわせて1万3千人を超す高校生が"本物の舞台芸術"である新国立劇場のオペラ鑑賞教室でオペラデビューを果たしています。

上演演目は、学校へのアンケートなどを元に本企画に最適と思われるオペラを検討しています。これまでに上演した作品には、『蝶々夫人』『トスカ』『カルメン』『カヴァレリア・ルスティカーナ』『椿姫』『ラ・ボエーム』と、錚々たるオペラの名作が並んでいます。また関西では、23年度の『愛の妙薬』から大阪フィルハーモニー交響楽団の演奏で上演しています。

62 OPERA 63

平成26年度新国立劇場高校生のためのオペラ鑑賞教室

 $2014.7/9 \sim 15$

蝶々夫人



Madama Butterfly

オペラパレス | 6回公演 | 全2幕〈イタリア語上演/字幕付〉

プロダクションについて

2005年の初演以来、主催公演で5回、鑑賞教室としては東京公演で今回が4回目の上演となり、関西公演でも3回上演されています。栗山民也の演出は、死を以て愛を貫いた蝶々さんの世界を、シンプルながら美しい舞台で描いています。





2011年 高校生のためのオペラ鑑賞教室公演より

あらすじ

【第1幕】明治時代の長崎。日本滞在中、家を借り、現地妻を娶るアメリカ海軍士官ピンカートンは、仲介人ゴローに家や使用人を案内される。アメリカ総領事シャープレスはピンカートンの軽薄な考えを聴き、結婚に真剣な花嫁のことを心配する。そんななか花嫁行列がやってきて、美しい蝶々さんがピンカートンの前に現れる。「私は世界一幸せ」と嬉しそうに語る蝶々さんは15歳で、裕福な武士の家に生まれたが、父は切腹して亡くなり、今は芸者として生きているという。一族が集まり結婚式が行われている最中、叔父の僧侶ボンゾがやってきて、キリスト教に改宗した蝶々さんに絶縁を言い渡す。式は終わり、2人きりの甘く幸せな夜を迎える。

【第2幕】ピンカートンがアメリカに帰国して3年。「コマドリが巣を作る頃に帰る」とのピンカートンの言葉を信じる蝶々さんは、彼の帰りを待ち続けている。シャープレスとゴローは蝶々さんにヤマドリとの再婚を勧めるが、蝶々さんはそれはできないと拒む。というのは、ピンカートンとの間に子供が生まれていたのだ。驚いたシャープレスは言葉もない。実はピンカートンは帰国後に"本当の"結婚をしていたのだ。そしてピンカートンの船が入港。蝶々さんとスズキは部屋を花でいっぱいにして、夫の到着を待つ。蝶々さんが奥の部屋にいる間、やってきたのはピンカートン、シャープレス、そしてピンカートンの妻ケート。スズキが応対するが、蝶々さんの思いを知ったピンカートンは堪らず立ち去る。すべてを悟った蝶々さんは、子供をアメリカで育てたいというケートの言葉を受け入れる。父の形見の短刀に刻まれた言葉「名誉をもって生きられないものは名誉をもって死ぬ」ことを決意した蝶々さんは、子供に別れを告げ、切腹する。「蝶々さん!」と叫ぶピンカートンの声がむなしく響く。

Repertoire Vパートリー Repertoire

ジャコモ・プッチーニ

蝶々夫人

Giacomo Puccini / Madama Butterfly

全2幕〈イタリア語上演/字幕付〉

三澤洋史 Misawa Hirofumi Conductor 栗山民也 Production Kuriyama Tamiya 美 術………… 島 次郎 Scenery Design Shima Jiro 前田文子 Costume Design Maeda Ayako 昭 明..... 勝柴次朗 Lighting Design Katsushiba Jiro 〈7月9・11・14日〉 〈7月10・12・15日〉 横山恵子 石上朋美 Madama Butterfly Ishigami Tomomi Yokoyama Keiko 樋口達哉 Higuchi Tatsuya 村上敏明 Murakami Toshiaki Pinkerton 成田博之 青山 貴 Aoyama Takashi Sharpless Narita Hiroyuki 大林智子 池田香織 Suzuki Obayashi Tomoko Ikeda Kaori 大野光彦 内山信吾 Uchiyama Shingo Ono Mitsuhiko 畠山 茂 志村文彦 Hatakeyama Shigeru Lo zio Bonzo Shimura Fumihiko ヤマドリ ……… 吉川健一 小林由樹 Il principe Yamadori Yoshikawa Kenichi Kobayashi Yoshiki 新国立劇場合唱団 New National Theatre Chorus Chorus 管弦楽…………東京フィルハーモニー交響楽団 Orchestra Tokyo Philharmonic Orchestra

2014年7月9日(水) 1:00 12日(土) 1:00

10日(木) 1:00 14日(月) 1:00

11日(金) 1:00 15日(火) 1:00

オペラパレス

【チケット料金】

全席指定: 2,160円(高校生のみ)

当日料金: 2,160円(高校生以下) / 4,320円(一般・大人)

| 64 | OPERA | 蝶々夫人 | 65 |

平成26年度新国立劇場高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演

2014.11/5 • 6





Yuzuru

尼崎市総合文化センター あましんアルカイックホール | 2回公演 | 全1幕〈日本語上演〉

プロダクションについて

『夕鶴』は、生涯に7作のオペラ作品を発表した團伊玖磨の第1作目のオペラです。團は、民話「鶴の恩返し」に題材をとった木下順二の名作戯曲「夕鶴」を、「台本を一字一句変えてはならない」という条件のもとに作曲しました。その美しい詩と叙情的な旋律は人々に愛され、1952年の初演以来国内外での上演は800回以上を数える、日本オペラ不朽の名作です。

栗山民也演出による新国立劇場のプロダクションは、能舞台を思わせる装置に、「空」をイメージする背景、その中に与ひょうの住む家が一軒というシンプルな舞台が特徴です。つうはそこから「自分の本当の住処」である空へと戻っていきます。

関西公演では平成25年度に続き2度目の上演となります。





2013年 高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演より

あらすじ

【第1場】村人にばかにされるほど純朴な農夫で、働き者の与ひょうは、美しい妻つうと小さな家で仲睦まじく暮らしている。ある日、運ずと惣どが、つうの噂話をしている。つうが織る布は「鶴の千羽織」と呼ばれ、町で十両もの高値で売れたというのだ。本物の鶴の羽で織った布ならば、都で売れば千両になるに違いない、と2人は金もうけの計画を立てる。しかし鶴の羽を一体どこで手に入れるのだろうと不思議に思った2人は、機屋を覗く。するとそこには鶴の羽が落ちているではないか。2人は、つうは鶴の化身なのではないかと疑い始める。与ひょうに問いただすと、彼は鶴を助けたことがあるという。確信した2人は与ひょうに、つうに布を織ってもらい、都で金もうけしようと誘う。布を織るたび痩せていくつうを思い、最初は気のりしなかった与ひょうだが、誘惑に負け、布を織るようつうに命じる。最近金もうけの話ばかりする与ひょうは以前と変わってしまった、とつうは嘆く。これ以上織ったらもう体がもたないかもしれないが、都行きを楽しみにしている与ひょうを思い、つうは布を織る決意をする。そして、いつものように機屋を決して覗かないよう与ひょうに約束させ、織り始める。しかし運ずと惣どは覗いてしまい、中の様子に驚き、与ひょうに報告する。それを聞いた与ひょうは、たまらず機屋を覗く。すると、中には鶴が1羽いるだけで、つうの姿が見当たらない。与ひょうはつうを探しに出る。

【第2場】いくら探してもつうは見つからず、与ひょうは倒れる。そこへつうが布を持ってやってくる。喜ぶ与ひょう。つうは2枚の布を織ったが、織っている最中に姿を見られたから、空へ帰らなければいけない、と涙を流す。布の1枚はいつまでも大切に持っていてほしいと与ひょうに渡し、姿を消す。空高く鶴が飛んでいく――。

Repertoire Vパートリー Repertoire

夕館

Dan Ikuma / Yuzuru

全1幕〈日本語上演〉

指 揮······ Conductor	石坂 宏 Ishizaka Hiroshi	
演 出······ Production	栗山民也 Kuriyama Tamiya	
美術 ·······Scenery Design	堀尾幸男 Horio Yukio	
衣 裳······ Costume Design	植田いつ子 Ueda Itsuko	
照 明······ Lighting Design	勝柴次朗 Katsushiba Jiro	
振 付······ Choreographer	吾妻徳彌 Azuma Tokuya	
つう	〈11月5日〉 石棒学宝	〈11月6日〉 針生美智子
Tsu	Ishibashi Emi	Hariu Michiko
与ひょう ····································	経種廉彦 Idane Yasuhiko	小原啓楼 Ohara Keiroh
運ず······· Unzu	星野 淳 Hoshino Jun	吉川健一 Yoshikawa Keni
惣ど・・・・・・Sodo	峰 茂樹 Mine Shigeki	北川辰彦 Kitagawa Tatshi
管弦楽 ····································	大阪フィルハーモニー Osaka Philharmonic C	

2014年11月5日(水) 2:00 6日(木) 2:00

尼崎市総合文化センター あましんアルカイックホール

【チケット料金】 全席指定:2,160円(高校生のみ) 当日料金:2,160円(高校生以下) / 4,320円(一般・大人)

| 66 | OPERA | **夕鶴** | 67 |



シーズン	公演	作曲	指揮	演出	公演初日
	建・TAKERU*	團 伊玖磨	星出 豊	西澤敬一	97.10/10
開場記念公演	ローエングリン*	R.ワーグナー	若杉 弘	ヴォルフガング・ワーグナー	97.11/22
	アイーダ*	G.ヴェルディ	ガルシア・ナバッロ	フランコ・ゼッフィレッリ	98.1/15
1000/	蝶々夫人★	G.プッチーニ	菊池彦典	栗山昌良	98.4/8
1998/	魔笛★	W.A. モーツァルト	大野和士	ミヒャエル・ハンペ	98.5/6
1999	ナブッコ*	G.ヴェルディ	アントン・グァダーニョ	アントネッロ・マダウ=ディアツ	98.6/18
	アラベッラ★	R.シュトラウス	若杉 弘	鈴木敬介	98.9/19
	セビリアの理髪師*	G.ロッシーニ	マウリツィオ・ベニーニ	ピエールフランチェスコ・マエストリーニ	98.10/9
	ヘンゼルとグレーテル*	E.フンパーディンク	佐藤功太郎	西澤敬一	98.11/27
	カルメン*	G.ビゼー	グスタフ・クーン	グスタフ・クーン	99.1/19
	天守物語*	水野修孝	星出 豊	栗山昌良	99.2/13
	こうもり*	J.シュトラウスII世	北原幸男	寺崎裕則	99.4/21
	罪と罰★	原 嘉壽子	外山雄三	加藤 直	99.6/18
1000/	仮面舞踏会*	G.ヴェルディ	パオロ・オルミ	アルベルト・ファッシーニ	99.9/21
1999/	マノン・レスコー*	G.プッチーニ	菊池彦典	ピエールフランチェスコ・マエストリーニ	99.11/6
2000	蝶々夫人	G. プッチーニ	ウジェコスラフ・シュテイ	栗山昌良	99.12/18
	ドン・ジョヴァンニ★	W.A. モーツァルト	アッシャー・フィッシュ	ロベルト・デ・シモーネ	00.1/16
	セビリアの理髪師	G.ロッシーニ	アントニオ・ピロッリ	粟國 淳/ピエールフランチェスコ・マエストリーニ	00.2/20
	沈黙★	松村禎三	星出 豊	中村敬一	00.3/16
	サロメ*	R.シュトラウス	若杉 弘	アウグスト・エファーディング	00.4/11
	ドン・キショット★	J.E.F. マスネ	アラン・ギンガル	ピエロ・ファッジョーニ	00.5/7
	リゴレット*	G.ヴェルディ	レナート・パルンボ	アルベルト・ファッシーニ	00.6/11
2000/	トスカ*	G. プッチーニ	マルチェッロ・ヴィオッティ	アントネッロ・マダウ=ディアツ	00.9/21
	魔笛	W.A. モーツァルト	村中大祐	ミヒャエル・ハンペ	00.10/10
2001	エウゲニ・オネーギン*	P.チャイコフスキー	ステファノ・ランザーニ	ボリス・ポクロフスキー/ヴェラ・カルパチョワ	00.10/30
	青ひげ公の城*	B. バルトーク	飯守泰次郎	ゲッツ・フリードリヒ	00.11/24
	夕鶴*	團 伊玖磨	増田宏昭	栗山民也	00.12/2
	イル・トロヴァトーレ*	G.ヴェルディ	ダニエル・オーレン	アルベルト・ファッシーニ	01.1/15
	リゴレット	G.ヴェルディ	アントニオ・ピロッリ	アルベルト・ファッシーニ	01.2/5
	ラインの黄金*	R.ワーグナー	準・メルクル	キース・ウォーナー	01.3/30
	仮面舞踏会	G.ヴェルディ	菊池彦典	アルベルト・ファッシーニ	01.5/13
	蝶々夫人	G.プッチーニ	アントン・グアダーニョ	栗山昌良	01.6/7
	マノン*	J.E.F.マスネ	アラン・ギンガル	ジャン=ピエール・ポネル	01.7/5
2001/	トゥーランドット*	G.プッチーニ	菊池彦典	ウーゴ・デ・アナ	01.9/15
	ナブッコ	G.ヴェルディ	パオロ・オルミ	アントネッロ・マダウ=ディアツ	01.11/1
2002	ドン・ジョヴァンニ	W.A. モーツァルト	ポール・コネリー	ロベルト・デ・シモーネ	01.11/16
	ドン・カルロ*	G.ヴェルディ	ダニエレ・カッレガーリ	アルベルト・ファッシーニ	01.12/6
	ヘンゼルとグレーテル	E.フンパーディンク	三澤洋史	西澤敬一	02.1/10
	忠臣蔵★	三枝成彰	大友直人	平尾力哉	02.1/25
	ウェルテル*	J.E.F. マスネ	アラン・ギンガル	アルベルト・ファッシーニ	02.2/21
	ワルキューレ*	R.ワーグナー	準・メルクル	キース・ウォーナー	02.3/26
	サロメ	R.シュトラウス	児玉 宏	アウグスト・エファーディング	02.5/1
	トスカ	G.プッチーニ	アルベルト・ヴェロネージ	アントネッロ・マダウ=ディアツ	02.5/2
	カルメン*	G.ビゼー	ジャック・デラコート	マウリツィオ・ディ・マッティーア	02.6/7
2002/	椿姫★	G.ヴェルディ	ブルーノ・カンパネッラ	ルーカ・ロンコーニ	02.9/5
	ルチア*	G.ドニゼッティ	パオロ・オルミ	ヴィンチェンツォ・グリゾストミ・トラヴァリーニ	02.10/11
2003	セビリアの理髪師	G.ロッシーニ	アントニオ・ピロッリ	栗國淳	02.10/31
	イル・トロヴァトーレ	G.ヴェルディ	ジュリアーノ・カレッラ	アルベルト・ファッシーニ	02.11/21
	ナクソス島のアリアドネ*	R.シュトラウス	児玉 宏	ハンス=ペーター・レーマン	02.12/12
	光*	一柳 慧	若杉 弘	松本重孝	03.1/17
	アラベッラ	R.シュトラウス	若杉 弘	鈴木敬介 	03.1/31
	ジークフリート*	R.ワーグナー	準・メルクル	キース・ウォーナー	03.3/27
	ラ・ボエーム*	G.プッチーニ	アントニオ・ピロッリ	栗國 淳	03.4/19
	オテロ*	G.ヴェルディ	菊池彦典	エライジャ・モシンスキー	03.6/10
	アイーダ	G.ヴェルディ	ダニエル・オーレン	フランコ・ゼッフィレッリ	03.9/14

シーズン	公演	作曲	指揮	演出	公演初E
2002/	フィガロの結婚*	W.A.モーツァルト	ウルフ・シルマー	アンドレアス・ホモキ	03.10/10
2003/	トスカ	G.プッチーニ	ジェラール・コルステン	アントネッロ・マダウ=ディアツ	03.11/9
2004	ホフマン物語★	G.オッフェンバック	阪 哲朗	フィリップ・アルロー	03.11/28
	鳴神/俊寛*	間宮芳生/清水 修	秋山和慶	市川團十郎	04.1/30
	スペインの燦き*	M. ラヴェル	マルク・ピオレ	ニコラ・ムシン	04.2/18
	サロメ	R.シュトラウス	フリードリヒ・ハイダー	アウグスト・エファーディンク	04.2/27
	神々の黄昏*	R.ワーグナー	準・メルクル	キース・ウォーナー	04.3/26
	マクベス*	G.ヴェルディ	ミゲル・ゴメス=マルティネス	野田秀樹	04.5/13
	ファルスタッフ*	G.ヴェルディ	ダン・エッティンガー	ジョナサン・ミラー	04.6/25
	カルメン	G.ビゼー	沼尻竜典	マウリツィオ・ディ・マッティーア	04.6/28
2007/	カヴァレリア・ルスティカーナ/道化師*	P.マスカーニ/R.レオンカヴァッロ	阪 哲朗	グリシャ・アサガロフ	04.9/9
2004/	ラ・ボエーム	G.プッチーニ	井上道義	粟國 淳	04.9/25
2005	エレクトラ*	R.シュトラウス	ウルフ・シルマー	ハンス=ペーター・レーマン	04.11/1
	椿姫	G.ヴェルディ	若杉 弘	ルーカ・ロンコーニ	04.11/22
	マクベス	G.ヴェルディ	リッカルド・フリッツァ	野田秀樹	05.1/17
	ルル*	A.ベルク	シュテファン・アントン・レック	デヴィッド・パウントニー	05.2/8
	おさん―「心中天網島」より*	久保摩耶子	神田慶一	粟國 淳	05.2/25
	コジ・ファン・トゥッテ*	W.A. モーツァルト	ダン・エッティンガー	コルネリア・レプシュレーガー	05.3/21
	フィガロの結婚	W.A. モーツァルト	平井秀明	アンドレアス・ホモキ	05.4/7
	フィデリオ*	L.v. ベートーヴェン	ミヒャエル・ボーダー	マルコ・アルトゥーロ・マレッリ	05.5/28
	蝶々夫人*	G.プッチーニ	レナート・パルンボ	栗山民也	05.6/24
2005/	ニュルンベルクのマイスタージンガー★	R.ワーグナー	シュテファン・アントン・レック	ベルント・ヴァイクル	05.9/14
2005/	セビリアの理髪師*	G.ロッシーニ	ニール・カバレッティ	ヨーゼフ・E . ケップリンガー	05.10/14
2006	アンドレア・シェニエ*	U.ジョルダーノ	ミゲル・ゴメス=マルティネス	フィリップ・アルロー	05.11/20
	ホフマン物語	J.オッフェンバック	阪 哲朗	フィリップ・アルロー	05.11/27
	魔笛	W.A. モーツァルト	服部譲二	ミヒャエル・ハンペ	06.1/21
	コジ・ファン・トゥッテ	W.A.モーツァルト	オラフ・ヘンツォルト	コルネリア・レプシュレーガー	06.2/4
	愛怨*	三木 稔	大友直人	恵川智美	06.2/17
	運命の力*	G.ヴェルディ	井上道義	エミリオ・サージ	06.3/15
	カヴァレリア・ルスティカーナ/道化師	P.マスカーニ/R.レオンカヴァッロ	ファビオ・ルイージ	グリシャ・アサガロフ	06.4/5
	こうもり*	J.シュトラウスII世	ヨハネス・ヴィルトナー	ハインツ・ツェドニク	06.6/14
2006/	ドン・カルロ*	G.ヴェルディ	ミゲル・ゴメス=マルティネス	マルコ・アルトゥーロ・マレッリ	06.9/7
	イドメネオ*	W.A.モーツァルト	ダン・エッティンガー	グリシャ・アサガロフ	06.10/20
2007	フィデリオ	L.v. ベートーヴェン	コルネリウス・マイスター	マルコ・アルトゥーロ・マレッリ	06.11/30
	セビリアの理髪師	G.ロッシーニ	ミケーレ・カルッリ	ヨーゼフ・E・ケップリンガー	06.12/1
	さまよえるオランダ人*	R.ワーグナー	ミヒャエル・ボーダー	マティアス・フォン・シュテークマン	07.2/25
	運命の力	G.ヴェルディ	マウリツィオ・バルバチーニ	エミリオ・サージ	07.3/15
	蝶々夫人	G. プッチーニ	若杉 弘	栗山民也	07.3/22
	西部の娘*	G.プッチーニ	ウルフ・シルマー	アンドレアス・ホモキ	07.4/15
	ばらの騎士*	R.シュトラウス	ペーター・シュナイダー	ジョナサン・ミラー	07.6/6
	ファルスタッフ	G.ヴェルディ	ダン・エッティンガー	ジョナサン・ミラー	07.6/13
2007/	タンホイザーと ヴァルトブルクの歌合戦★	R.ワーグナー	フィリップ・オーギャン	ハンス=ペーター・レーマン	07.10/8
2008	フィガロの結婚	W.A. モーツァルト	沼尻竜典	アンドレアス・ホモキ	07.10/18
2000	カルメン*	G.ビゼー	ジャック・デラコート	鵜山 仁	07.11/25
	ラ・ボエーム	G.プッチーニ	マウリツィオ・バルバチーニ	粟國 淳	08.1/20
	サロメ	R.シュトラウス	トーマス・レスナー	アウグスト・エファーディング	08.2/3
	黒船 ─夜明け★	山田耕筰	若杉 弘	栗山昌良	08.2/22
	アイーダ	G.ヴェルディ	リッカルド・フリッツァ	フランコ・ゼッフィレッリ	08.3/10
	魔弾の射手★	C.M.v.ウェーバー	ダン・エッティンガー	マティアス・フォン・シュテークマン	08.4/10
	軍人たち*	B.A. ツィンマーマン	若杉弘	ヴィリー・デッカー	08.5/5
	椿姫	G.ヴェルディ	上岡敏之	ルーカ・ロンコーニ	08.6/5

0PERA | 公演一覧 [69]

シーズン	公演	作曲	指揮	演出	公演初日
0000/	トゥーランドット*	G. プッチーニ	アントネッロ・アッレマンディ	ヘニング・ブロックハウス	08.10/1
2008/	リゴレット	G.ヴェルディ	ダニエレ・カッレガーリ	アルベルト・ファッシーニ	08.10/25
2009	ドン・ジョヴァンニ*	W.A. モーツァルト	コンスタンティン・トリンクス		08.12/5
	蝶々夫人	G.プッチーニ	カルロ・モンタナーロ	栗山民也	09.1/12
	こうもり	J.シュトラウス!!世	アレクサンダー・ジョエル	ハインツ・ツェドニク	09.1/27
	ラインの黄金	R.ワーグナー	ダン・エッティンガー	キース・ウォーナー	09.3/7
	ワルキューレ	R.ワーグナー	ダン・エッティンガー	キース・ウォーナー	09.4/3
	ムツェンスク郡のマクベス夫人★		ミハイル・シンケヴィチ	リチャード・ジョーンズ	09.5/1
	チェネレントラ*	G.ロッシーニ	デイヴィッド・サイラス	ジャン=ピエール・ポネル	09.6/7
	修禅寺物語*	清水 脩	外山雄三	坂田藤十郎	09.6/25
0000/	オテロ*	G.ヴェルディ	リッカルド・フリッツァ	マリオ・マルトーネ	09.9/20
2009/	魔笛	W.A. モーツァルト	アルフレート・エシュヴェ	ミヒャエル・ハンペ	09.10/29
2010	ヴォツェック*	A.ベルク	ハルトムート・ヘンヒェン	アンドレアス・クリーゲンブルク	09.11/18
	トスカ	G.プッチーニ	フレデリック・シャスラン	アントネッロ・マダウ=ディアツ	09.12/2
	ジークフリート	R.ワーグナー	ダン・エッティンガー	キース・ウォーナー	10.2/11
	神々の黄昏	R.ワーグナー	ダン・エッティンガー	キース・ウォーナー	10.3/18
	愛の妙薬*	G.ドニゼッティ	パオロ・オルミ	チェーザレ・リエヴィ	10.4/15
	影のない女*	R.シュトラウス	エーリッヒ・ヴェヒター	ドニ・クリエフ	10.5/20
	カルメン	G.ビゼー	マウリツィオ・バルバチーニ		10.6/10
	鹿鳴館★	池辺晋一郎	沼尻竜典	鵜山 仁	10.6/24
	アラベッラ*	R.シュトラウス	ウルフ・シルマー	フィリップ・アルロー	10.10/2
2010/	フィガロの結婚	W.A. モーツァルト	ミヒャエル・ギュットラー	アンドレアス・ホモキ	10.10/2
	アンドレア・シェニエ	U.ジョルダーノ	フレデリック・シャスラン	フィリップ・アルロー	10.10/10
2011	トリスタンとイゾルデ*			デイヴィッド・マクヴィカー	
	夕鶴	R.ワーグナー 同 母xx 麻	大野和士		10.12/25
	棒姫	■ 伊玖磨 - ロールディ	高関健	栗山民也	11.2/4
		G.ヴェルディ	広上淳一	ルーカ・ロンコーニ	11.2/14
	マノン・レスコー*(公演中止)		リッカルド・フリッツァ	ジルベール・デフロ	
	ばらの騎士	R.シュトラウス	マンフレッド・マイヤーホーファー		11.4/10
	コジ・ファン・トゥッテ*	W.A. モーツァルト	ミゲル・ゴメス=マルティネス		11.5/29
	蝶々夫人	G.プッチーニ	イヴ・アベル	栗山民也	11.6/6
2011/	イル・トロヴァトーレ*	G.ヴェルディ	ピエトロ・リッツォ	ウルリッヒ・ペータース マウグスト エフー・ディング	11.10/2
2011/	サロメ	R.シュトラウス	ラルフ・ヴァイケルト	アウグスト・エファーディング	11.10/9
2012	ルサルカ*	A.ドヴォルザーク	ヤロスラフ・キズリンク	ポール・カラン	11.11/23
	こうもり	J. シュトラウスII世	ダン・エッティンガー	ハインツ・ツェドニク	11.12/1
	ラ・ボエーム	G. プッチーニ	コンスタンティン・トリンクス		12.1/19
	沈黙*	松村禎三	下野竜也	宮田慶子	12.2/15
	さまよえるオランダ人	R. ワーグナー	トマーシュ・ネトピル	マティアス・フォン・シュテークマン	12.3/8
	オテロ	G.ヴェルディ	ジャン・レイサム=ケーニック		12.4/1
	ドン・ジョヴァンニ	W.A. モーツァルト	エンリケ・マッツォーラ	グリシャ・アサガロフ	12.4/19
	ローエングリン*	R.ワーグナー	ペーター・シュナイダー	マティアス・フォン・シュテークマン	12.6/1
00407	ピーター・グライムズ*	B. ブリテン	リチャード・アームストロング		12.10/2
2012/	トスカ	G.プッチーニ	沼尻竜典	アントネッロ・マダウ=ディアツ	12.11/11
2013	セビリアの理髪師	G.ロッシーニ	カルロ・モンタナーロ	ヨーゼフ・Ε ケップリンガー	12.11/28
	タンホイザーとヴァルトブルクの歌合戦			ハンス=ペーター・レーマン	13.1/23
	愛の妙薬	G.ドニゼッティ	ジュリアン・サレムクール	チェーザレ・リエヴィ	13.1/31
	アイーダ	G.ヴェルディ	ミヒャエル・ギュットラー	フランコ・ゼッフィレッリ	13.3/11
	魔笛	W.A. モーツァルト	ラルフ・ヴァイケルト	ミヒャエル・ハンペ	13.4/14
	ナブッコ*	G.ヴェルディ	パオロ・カリニャーニ	グラハム・ヴィック	13.5/19
	コジ・ファン・トゥッテ	W.A. モーツァルト	イヴ・アベル	ダミアーノ・ミキエレット	13.6/3
	夜叉ケ池*	香月修	十束尚宏	岩田達宗	13.6/25

シーズン	公演	作曲	指揮	演出	公演初日
	リゴレット*	G.ヴェルディ	ピエトロ・リッツォ	アンドレアス・クリーゲンブルク	13.10/3
2013/	フィガロの結婚	W.A. モーツァルト	ウルフ・シルマー	アンドレアス・ホモキ	13.10/20
2014	ホフマン物語	J.オッフェンバック	フレデリック・シャスラン	フィリップ・アルロー	13.11/28
2014	カルメン	G.ビゼー	アイナルス・ルビキス	鵜山 仁	14.1/19
	蝶々夫人	G.プッチーニ	ケリー=リン・ウィルソン	栗山民也	14.1/30
	死の都★	E.W.コルンゴルト	ヤロスラフ・キズリンク	カスパー・ホルテン	14.3/12
	ヴォツェック	A.ベルク	ギュンター・ノイホルト	アンドレアス・クリーゲンブルク	14.4/5
	カヴァレリア・ルスティカーナ/道化師★	P.マスカーニ/R.レオンカヴァッロ	レナート・パルンボ	ジルベール・デフロ	14.5/14
	アラベッラ	R.シュトラウス	ベルトラン・ド・ビリー	フィリップ・アルロー	14.5/22
	鹿鳴館	池辺晋一郎	飯森範親	鵜山 仁	14.6/19

70 OPERA | 公演一覧 71